

高 文 連

第十九号

山口県高等学校文化連盟

# 高文連

第19号

山口県高等学校文化連盟

高文達

第 19 号

# もくじ

ごあいさつ .....	1
山口県高等学校文化連盟各部門の報告 .....	2
第29回山口県高等学校総合文化祭の記録	
総合開会式 .....	15
[音楽関係 4 部門]	
器楽・管弦楽部門 .....	19
合唱部門 .....	20
吹奏楽部門 .....	21
マーチングバンド・バトントワリング部門 .....	22
日本音楽・吟詠部門 .....	23
展示 3 部門（美術・工芸、書道、写真） .....	24
囲碁部門 .....	29
演劇部門 .....	30
放送部門 .....	31
将棋部門 .....	32
文芸部門 .....	33
第31回全国高等学校総合文化祭の記録 .....	34
器楽・管弦楽部門 .....	36
合唱部門 .....	37
吹奏楽部門 .....	38
マーチングバンド・バトントワリング部門 .....	39
日本音楽部門 .....	40
美術・工芸部門 .....	41
書道部門 .....	42
写真部門 .....	43
囲碁部門 .....	44
放送部門 .....	45
将棋部門 .....	46
文芸部門 .....	47
自主事業 .....	48

## 参考資料

平成19年度山口県高等学校文化連盟<事業報告・会計決算書> .....	52
平成20年度山口県高等学校文化連盟<事業計画・会計予算書> .....	54
山口県高等学校文化連盟規約・諸規程（会計、事務局、表彰、旅費支給基準、 調整基金細則） .....	56
平成19・20年度山口県高等学校文化連盟役員一覧 .....	61
全国高文連の歌 .....	63

# ごあいさつ



山口県高等学校文化連盟

会長 八幡 フミエ

高校生の芸術・文化の祭典である第29回山口県高等学校総合文化祭は、「大空に放て 大地に響け 君の夢」のテーマのもと、平成19年6月14日、宇部市渡辺翁記念会館において開催された総合開会式で幕を開けました。県内各地において、各部門の発表大会が多くの高校生や地域の方々の参加を得て盛大に催され、素晴らしい成果をあげることができました。

島根県で開催された第31回全国高等学校総合文化祭には、本県から延べ44校、209人が参加しました。島根県の高校生の温かい歓迎と高校生が主体となった運営が行われる中、山口県立徳山高等学校の藤本美智子さんが放送アナウンス部門で優秀賞を受賞したのをはじめ、本県の参加者は日頃の精進によって培われた力を各部門で遺憾なく発揮してくれました。

また、今年度は、第9回高校生文芸道場中国ブロック大会と第45回中国地区高等学校演劇発表会の2つの中国大会が本県で開催されました。中国地区各県を代表する高校生の質の高い文化活動に触れるとともに、本県の高校生がスタッフとして積極的に大会運営に関わり、大会を充実したものにしてくれました。

その他、山口県高等学校文化連盟では高校生が優れた文化や芸術に触れる機会を作り、感性を高め育むことを目的に、自主文化事業を企画しております。今年度は音楽や演劇など12公演を県内各校で開催し、好評のうちに終了することができました。

これらの県内外で繰り広げられた大会や公演等に参加した感性豊かな高校生にとって、感動・喜び、そして創造と交流の輪の広がりなど、青春時代のかけがえのない財産が得られたものと思います。

平成18年11月、本県において「国民文化祭やまぐち」が開催され、「やまぐち発 心ときめく文化維新」のテーマのもと、山口県の優れた文化、元気と魅力が全国に発信されました。平成19年12月には文化芸術の力で元気な山口県を築いていくために、これから文化芸術の振興の基本となる条例が制定されています。

このように文化芸術振興の気運が高まる中で、次代を担う若い生徒たちへの期待は大きく、様々な文化・芸術に親しみ、それぞれの個性や豊かな感性を育みながら、より質の高い新たな文化を創造し、さらに大きく飛躍することを心から願うものであります。高校生の芸術文化活動を支える組織として、県高文連の果たす役割には大きいものがあり、今後ますますの躍進が期待されます。一層のご支援・ご協力を願っています。

終わりに、この一年間、終始温かいご指導を賜りました県教育委員会をはじめ、県高文連の諸活動にご支援・ご協力をいただきました関係各位に心から感謝し、厚くお礼申し上げまして、発刊のごあいさつといたします。

# 山口県高等学校文化連盟<各部門の報告>

## 器楽・管弦楽部門

理事長 飯田幸生  
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

- 平成19年度第29回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として合唱部門との合同演奏

\* 6月14日（木）

\* 曲目「大地讃頌」

「ハレルヤ・コーラス」

「翼をください」

\* 指揮／三好 五郎

\* 参加出演／器楽・管弦楽部門 75名

- 平成19年度第29回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

\* 6月15日（金）、16日（土）

\* 参加各校による弦楽・ギター・マンドリン・管弦楽の演奏

\* 参加出演／7校 300名

- 第31回全国高等学校総合文化祭

\* 7月31日（火）、8月1日（水）

\* 島根県松江市プラバホール

\* 山口県立下関南高等学校が県代表として参加

\* リスト作曲 交響詩「レ・プレリュード」を演奏

- 平成19年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

\* 12月3日（月）

下関南高等学校会議室

部会長以下出席者 8名

\* 第27回器楽・管弦楽スプリング

コンサート（山口大会）、県総文、全総文、高文連表彰、役員改選などについて協議

- 第27回器楽・管弦楽スプリングコンサート

\* 平成20年3月27日（木） 山口市民会館

\* 参加7校によるギター・マンドリン、管弦楽などの演奏

今年度の全国総合文化祭島根大会では、本県代表の下関南高等学校が素晴らしい演奏を披露いたしました。本県の器楽・管弦楽部門のレベルは全国的にみても、非常に高いものだと思います。次年度以降もますます、発展していくことを確信しています。

▼第29回山口県高等学校総合文化祭総合開会式



## 合唱部門

理事長 三好 五郎  
(宇部中央高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟、合唱部門に関して行われた今年度の事業を報告いたします。

### 1. 山口県高等学校合唱講習会（開幕式典に備えての講習会）

- ・平成19年5月27日（日）
- ・講 師／石橋 久和（島根県立矢上高等学校教諭）
- ・内 容／発声と曲作り
- ・曲 目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”  
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”

・場 所／山口県教育会館大ホール

・参加者／10校 135名

午前中は合唱の基礎づくりとして、準備運動と発声練習を中心に実習した。講師である石橋先生は以前松江北高等学校時代の経験をもとに、参加生徒等にわかりやすくご指導された。

午後からはハレルヤコーラスと大地讃頌を午前中指導された発声に注意しながらレッスンをされ、とても充実した講演会となつた。

### 2. 平成19年度 第29回山口県高等学校総合文化祭開幕式典においての慶祝演奏

- ・平成19年6月15日（木）
- ・山口県高等学校管弦楽団との合同演奏



- ・指 挥／宇部中央高校教諭 三好 五郎
- ・曲 目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”  
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”  
“翼を下さい”

・山口県高等学校合唱団／10校 (164名)  
今年は、去年と同様オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」、カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」を演奏した。「大地讃頌」は今までオーケストラの編曲が原曲より調が高く、合唱に声の負担が大きかったが今年度は、原曲の調で歌ったので生徒は歌いやすかった様である。最後に会場の人と一緒に歌った「翼を下さい」ではホールの熱気が最高潮に達し、感動のうちに幕を閉じた。

### 3. 平成19年度 第29回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

- ・平成19年6月15日（金）16日（土）
- ・宇部市渡辺翁記念会館
- ・合唱単独出演者／5校 (宇部中央・野田学園・防府・萩・宇部フロンティア大学附属香川) 140名
- ・その他 山口県合同合唱団 (山口中央・宇部中央・萩光塩・防府) 35名

### 4. 第31回全国高等学校総合文化祭

- ・平成19年8月2日（木）
- ・島根県芸術文化センター（グラントワ）
- ・山口県代表／山口県合同合唱団 (山口中央・宇部中央・萩光塩・防府) 35名
- ・曲 目／「男なら」「女声合唱とピアノのための組曲宇宙の果物より曙」

### 5. 平成19年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

- ・平成19年12月5日（水）
- ・山口県立宇部中央高等学校会議室
- ・出席者／部会長以下7名
- ・議 題／県総文、全総文、19年度会計報告、高文連表彰  
20年度事業予定などについて

## 吹奏楽部門

理事長 西村正浩  
(美称高等学校教諭)



平成19年度山口県高等学校文化連盟吹奏楽部会の活動状況を報告いたします。

### 1. 県総文総合開会式

総合開会式は「大空に放て 大地に響け 君の夢」というテーマのもと、宇部高校の主管で平成19年6月14日(木)に宇部市渡辺翁記念会館で盛大に開催されました。吹奏楽部会は慶進高校、宇部高校、宇部商業高校、小野田高校の4校で宇部地区高等学校合同吹奏楽団を結成し、宇部高校・豊田恵美先生の指揮のもとで式典並びに慶祝演奏に参加しました。

### 2. 県総文音楽4部門発表会・連合音楽会

総合開会式の翌日15日(金)、16日(土)の2日間、音楽4部門発表会・連合音楽会が宇部市渡辺翁記念会館で開催されました。吹奏楽部会からは52校 1,963名の生徒が参加し、すばらしい演奏を披露してくれました。

### 3. 全国総文島根大会

全国総文島根大会は8月1日(水)、2日(木)に出雲市民会館で開催され、2日にこのたび初めて小編成部門から山口県代表と

して推薦された岩国工業高校吹奏楽部(指揮:山下やよい先生)が出場しました。ほとんどが大編成の演奏のなか、部員16名とは思えないパワフルなサウンドで会場を魅了されました。

### 4. 県高文連吹奏楽部会総会

本年度の吹奏楽部会総会は1月17日(木)に秋芳町の秋吉台国際芸術村で開催されました。

県下33名の吹奏楽部担当者が出席し活発に協議・意見交換等を行いました。また平成20年度の全国総文群馬大会には豊浦高校吹奏楽部を推薦することが満場一致で決議されました。

### 5. 県高文連吹奏楽部会研修会

総会に引き続き部会研修会を開催いたしました。今年はエリザベト音楽大学教授の中井勝先生をお招きして、吹奏楽の指揮について研修しました。エリザベト音楽大学学生・OBで編成した17人の小編成吹奏楽団を実際に指揮しながらの講習は大変実りあるものとなりました。

## マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 繩田道孝

(山口県鴻城高等学校教諭)

平成19年度山口県高等学校文化連盟マーチングバンド・バトントワリング部門の活動状況を報告いたします。

### 1. 第29回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

平成19年6月14日（木）テーマ「大地に放て 大地に響け 君の夢」

宇部市渡辺翁記念会館にて開催されました。昨年度に引き続き各専門部紹介を構成劇「君の夢」という形で披露しました。続いて慶祝演奏では、日本音楽部門「創作太鼓」の次に、山口県鴻城高等学校吹奏楽部によりステージドリルが披露されました。

### 2. 第29回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

総合開会式の翌日、15日（金）・16日

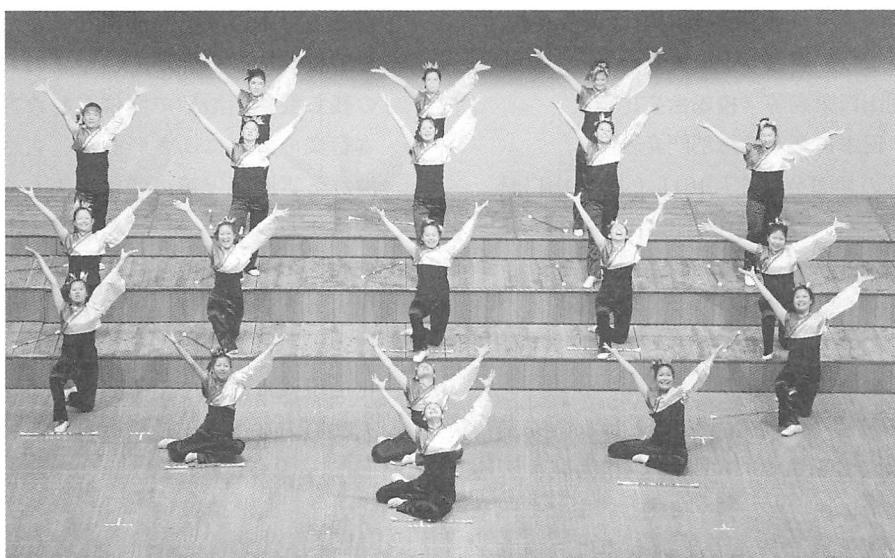
（土）の2日間、同じく宇部市渡辺翁記念会館にて開催されました。本部門は、山口県鴻城高等学校・慶進高等学校・誠英高等学校の3校が参加しました。

### 3. 第31回全国高等学校総合文化祭・島根大会

7月29日（日）松江市街地にてパレード、出雲市カミアリーナにてマーチングバンド・バトントワリング部門発表会が開催され、山口県代表として慶進高等学校・誠英高等学校の合同チームが参加しました。

### 4. 部門研修

平成19年度 マーチングバンド講習会  
3月15日（土）山口県鴻城高等学校にて（9：00～17：00）山口県吹奏楽連盟と合同主催で実施。



## 日本音楽部門

理事長 橋口三恵子  
(誠英高等学校教諭)



平成19年度山口県高文連日本音楽部門の活動状況を報告いたします。

### 1. 第29回山口県高等学校総合文化祭

#### 総合開会式 慶祝演奏

6月14日（木）宇部市渡辺翁記念会館において、宇部高等学校の主管で盛大に総合開会式が行われました。各専門部紹介後の慶祝演奏では、宇部鴻城高等学校太鼓部が「創作太鼓」を演奏しました。力強い太鼓の音に若さとエネルギーが会場中に満ち溢れ、雰囲気をより一層盛り上げました。

### 2. 第29回山口県高等学校総合文化祭

#### 日本音楽・吟詠部門発表会

今年度の発表会は6月16日（土）、山口県鴻城高等学校主管で山口南総合センターにて開催されました。日本音楽部門に15校、吟詠剣詩舞部門に2校、郷土芸能部門に1校が参加し、101名の生徒達がステージ上で日頃の活動の成果を披露しました。

各校の演奏も回を重ねるごとにより充実したものになってきています。和太鼓、三味線、能楽、独吟と、様々ですし、またキーボードを交えた合奏ありという様に、日本

音楽の新たな可能性を感じさせるものでした。恒例となった合同演奏も、リハーサルなしのぶっつけ本番にもかかわらず、出演生徒たちが心を一つにして演奏し、華やかなステージになりました。

クラブの入部希望者が少なく各学校とも存続が危ない状態ですが、日本人の心を和ませる琴の音色を絶やしてはいけないと改めて感じました。

また日本伝統文化を継承するこの部門の基本である『礼』の大切さも心に刻んだ大会となり、充実した発表会となりました。

### 3. 第31回全国高等学校総合文化祭

#### 島根大会

8月1日（水）2日（木）に雲南省三刀屋文化体育館で開催された大会には山口県鴻城高等学校が県代表として参加し、「月に寄せる日本の歌」を演奏しました。全国から57校参加。緑豊かで、やまたおろち伝説の残る斐伊川沿いで開催された発表会は日本音楽の舞台にふさわしく、古代のロマン溢れる雰囲気と箏の音色が美しく心に響きました。

全国のレベルの高さに触ることは、参加者の大変貴重な経験であり、今後の活動に対する大きな励みになりました。伝統文化を現代においてどう表現するかという工夫、努力など各学校の取り組みに感動しました。

## 美術・工芸部門

理事長 宮崎龍次  
(下関商業高等学校教諭)

平成19年度美術・工芸部門の主な活動について報告いたします。

### 1. 県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝展示

宇都市渡辺翁記念会館2階ロビーにて慶祝展示を行いました。宇部地区各校から作品を出品していただき、総合開会式に華をそえました。

### 2. 全国高等学校総合文化祭〈島根大会〉

作品展示は7月29日から8月2日まで、島根県立美術館で行われました。全国から昨年を13点上回る392点の出品がありました。いずれもレベルの高い作品で見ごたえのある展示となりました。その中にあって、本県から出品された絵画5点、塑像1点は、それぞれの個性の光を十分放っていたように思います。

昨年の京都大会から、区分けが平面と立体となり、立体作品が出品しやすくなった影響もあるかと思いますが、今年は立体デザインや、絵画と立体を融合させた作品が見受けられました。今後の新しい展開が楽しみです。

反面映像は今年も3点と少なく、映像表現の浸透にはまだ時間がかかる気がします。ともあれ、全体のレベルは年を追って上がっていく印象を受けました。

さて、諸行事ですが、展示会場とは別の、ホヌー一畠で行われ、開会式には石見神楽が演じられました。講評会は東京芸大教授で日本画家の宮廻正明氏が、出品作品を講評されました。講評の中で宮廻氏は、「作品とは最もこちよい形を作り出すもの」とされ、そのためには「うそをつく」ことと、「うそとわからぬようにする」ことが重要だと説かれました。また、そのためには「技術を磨く」ことが必要とも仰っていました。

交流会は島根県内の美術部員が石見神楽面の技法により作成したミニ面に、各自が

着彩する作品制作を、数人ずつの班に分かれて行いました。各テーブルとも、制作を通してしか味わえない、互いを尊敬しあう光景が見られ、とてもよい交流会でした。本県からも4名がこの交流会に参加し、積極的に交流をしていましたが、諸事情で不参加の生徒がいたことは残念です。

晴天に恵まれ、心地よい島根大会でしたが、最も印象的だったのは、島根の高校生が、石見神楽をとても大切にしていることです。現地で高校生に聞いたところでは、各地区に神楽団があり、みな幼いころからこの伝統芸能に親しんでいるそうです。本県にも萩焼や大内塗りなどの伝統工芸がありますが、それらを活かすこととも、美術・工芸部会の大切な役割の気がします。

### 3. 県総合文化祭展示部門

別欄に掲載していますのでそちらをご覧ください。

### 4. 美術・工芸部連絡協議会

今年の連絡協議会は、9月28日に下関商業高等学校で行いました。場所が下関ということも影響してか、18名とやや少ない参加でしたが、美術専門でない部顧問も参加され、充実した協議会でした。山口高等学校の濱野先生に立体造形の指導について、研究発表をしていただきました。



## 書道部門

理事長 有富由美  
(山口高等学校教諭)

平成19年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

### 1 山口県高校総合文化祭総合開会式

宇部市渡辺翁記念会館での総合開会式では式典の後、構成劇の形で各部門の紹介があり、書道部門は防府高校書道部によるステージ演技「B i l i e v e」が披露されました。2階のホールには、地元宇部地区からの作品を展示し、多くの来場者が地元の高校生の力作に足を止めて鑑賞していました。

### 2 第9回高文連書道部会生徒研修会

9回目となった生徒研修会は、内容を一新してセミナーパークで行われました。内容は、午前中は特大筆を使っての一字大書創作、午後からは『臨 風信帖』の共同作品の制作に取り組みました。参加者は生徒31名、顧問9名、計40名と、台風の影響で急遽日程が変更されたにもかかわらず多くの参加者に恵まれ賑やかに行われました。

一字大書創作では各班5、6人ずつ6つのグループに分かれ、予め自分が選び、草稿を用意した一字を特大筆で、全紙1/2の画仙紙に創作しました。一本の筆を共有し、お互いに協力し合わなければ書けないこの活動は、学校の枠を越えて構成された班内で、お互いに協力し、交流が生まれる貴重な時間となりました。昼食を挟んで午後からは、共同作品『臨 風信帖』の制作を行いました。これは風信帖第1通めの15行を3行ずつ5枚のパネルに仕上げようと



いうものです。まず自分に割り当てられた部分を個人練習し、その後パネルごとに別れ3尺×6尺の画仙紙に順番に揮毫していきます。自分の順番が来るまで、友達が書いている様子を見ながら待つ、そのひとときは緊張感と不安で、息をのむような張り詰めた空気が会場を包み込んでいました。何枚か書くうちに全体のまとまりもよくなっています。いつの間にか自分の責任を果たすことの大切さと友を励ます気持ちとが1枚のすばらしい作品の完成につながっていました。この作品はパネルに表装し、山口県高等学校総合文化祭に、共同作品として出品展示し、好評を博しました。

### 3 全国高等学校総合文化祭〈島根大会〉

全総文祭会場の島根県立武道館は、松江市中心部にあり、ワンフロアに全国展、県企画展すべての作品が展示できる広々とした会場でした。各県名をすべて木彫の刻字作品で表示するなど、スタッフ不足の心配を払拭するような立派な展示と丁寧な企画運営に頭が下がりました。山口県からは防府、長府、下関南、下関中等教育の4校が代表として出品しました。県大会からさらに大型化し、内容も随分練度が増しており、その成長ぶりに感心するとともに、本人の努力はもとより顧問の先生方の力強いご指導にあらためて感謝した次第です。その作品については「全総文祭の記録」のページで詳しく紹介します。



## 写真部門

理事長 佃 幸憲  
(光高等学校教諭)

平成19年度の山口県高等学校文化連盟写真部門の活動状況についてご報告致します。

### 1. 平成19年度第29回山口県高等学校総合文化祭 総合開会式における慶祝展示

今年度は、6月14日（木）から16日（土）まで、宇部市渡辺翁記念会館にて、総合開会式ならびに音楽4部門発表会が開催されました。

例年、写真部門では、前年度の県総文にて優秀作品に選ばれ、今年度の全国大会（島根県で開催）へ出品候補作品となったものを、大会期間中に慶祝展示しております。

今年度は以下の作品が展示されました。  
(すべて全紙・モノクロ・単写真)

宇部工業高等学校	2年 藤川 太志 作 『歓 喜』
宇部工業高等学校	2年 金井 寿喜 作 『マキバオーパーク場王』
小野田工業高等学校	2年 上田 啓介 作 『先輩を訪問』
新南陽高等学校	3年 藤田 咲 作 『喧噪の狭間で』
西京高等学校	3年 藤井 莢 作 『笑顔日和』

出展にご協力頂いた顧問の先生、ならびに生徒の皆さんに感謝いたします。

### 2. 平成19年度 第31回全国高等学校総合文化祭 写真部門（島根大会）

7月29日（日）から8月2日（木）までの5日間、写真部門の全国大会の諸行事が、島根県松江市の松江市総合体育館（展示会場）を中心として行なわれました。

猛暑の中の大会でしたが、上記の5作品が展示され、交流会・撮影会なども実施されました。

この大会では、山口県代表作品として出品した以下の作品が、全国奨励賞次点作品

に選出されました。（上位40点）

新南陽高等学校 3年 藤田 咲 作  
『喧噪の狭間で』

また、本大会と並行して行なわれた撮影会では、以下の作品が優秀賞となりました。  
(上位10点)

新南陽高等学校 3年 藤田 咲 作  
『知 佳』

松江城周辺での撮影会でしたが、木漏れ日の中にたたずむ同級生を撮影した作品で、構図・構想ともに優れ、光を巧みに利用した感性豊かな作品でした。

島根大会へ参加した生徒からの報告については、本冊子の「第31回 全国高総文祭写真部門の記録」をご覧下さい。

なお、平成20年度の本大会は、群馬県高崎市内で開催されます。

### 3. 平成19年度第29回山口県高等学校総合文化祭 展示部門（美術・工芸、書道、写真） 宇部大会

今年度は、11月15日（木）から18日（日）にかけて、宇部ときわ公園湖水ホールにて実施されました。

本大会の詳細については、本冊子の第29回山口県高総文祭（展示3部門）の報告をご覧下さい。



## 囲碁部門

理事長 広瀬泰夫  
(徳山商工高等学校教諭)

### 〈平成19年度の主な活動〉

#### 1 全国高校総文囲碁部門

(1) 期日：8月1日（水）・2日（木）

(2) 場所：出雲市「フローラいづも」

(3) 出場者と成績：

#### 個人戦

男子 藤本裕樹(下関工業) 4勝2敗 11位

女子 赤木香菜(防府商業) 2勝4敗 38位

#### 団体戦

木村 悠(徳山)、波多野貴紀(山口)、

三井聰子(宇部) 3勝3敗 29位

#### 2 山口県高校総文囲碁大会

→「第29回山口県高総文祭の記録」

#### 3 第11回中国囲碁選手権大会

(1) 期 日：12月25日（火）、26日（水）

(2) 場 所：周南市文化会館

(3) 参加者：75名 (37校)

(4) 成 績：



(中国大会での藤本君と阿武君)

#### 個人戦

男子 藤本裕樹(下関工業) 5勝0敗 優勝

阿武貴裕(山口中央) 4勝1敗 2位

女子 堀本範子(周防大島) 4勝0敗 優勝

#### 団体戦

男子 下関西高等学校 4勝1敗 2位

女子 徳山商工高等学校 2勝1敗 2位

(5) 全国高校囲碁選抜大会への出場資格

(中国ブロック代表)

藤本裕樹：男子個人戦出場

堀本範子：女子個人戦出場

阿武貴裕：男子9路盤戦出場

#### 4 囲碁研修大会

(1) 期 日：2月3日（日）

(2) 場 所：山口南総合センター

(3) 指導碁：日本棋院プロ棋士

山本賢太郎四段

#### 〈総括〉

いま、山口県は強い。中国囲碁選手権の個人戦で優勝という結果がこのことを裏付けた。来年度の高校総文ではこの強力なメンバーで団体戦を組み、全国に挑む。全国優勝も決して夢ではない。来年度は理事長を降りるが、幸いにも本校の生徒の引率者としてこの大会を見ることができる。今から楽しみだ。

## 演劇部門

理事長 村岡 圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)



### 《第29回山口県総合文化祭総合開会式》

今年度も宇部市渡辺翁記念会館で行われた県総合文化祭総合開会式で、演劇部門を中心とし他部門との協力を得て、構成劇『翼をください』を上演しました。部門紹介という形でこのような劇を制作するには様々な障害がありました。たくさんの協力もあり無事上演できました。主管の宇部高校には大変ご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。

### 《第45回中国地区高等学校演劇発表会》

中国地区発表会が11月23・24日に山口市湯田のYCAM（山口情報芸術センター）で、盛大に行われました。中国地区大会だけあってどの学校も演技レベルが高く、とりわけ大道具の量はプロ並の学校が多く、YCAMをもってしても大道具置き場に苦労しました。（ある学校の舞台セットは、台所の蛇口から水まで出ていました。また、150本の生木を舞台上にセットする学校もありました。）そんな中でも、スタッフの皆さんや山防地区の演劇部生徒は、テキパキと出演校の要望に笑顔で応えていました。

本当に他県の高校から感謝されていました。ありがとうございました。

### 《演劇講習会》

毎年1回、全県の高校生向けに演劇講習会を開催しています。（大道具や演技技術など）今年は中国大会が山口であるために、中国高演

協主催の「照明講習会」を例年の演劇講習会にあてました。7月30日（月）に山口情報芸術センターにて日本照明家協会の方々を招き、「舞台の安全」「照明器具の扱い方」「仕込み・撤収」について、講義・実習をしていただきました。参加生徒からは「勉強になった」と好評でした。日程が各地区大会前ということもありましたが、多くの生徒が参加していました。

### 《年々減少しています》

演劇部門の加盟校数は26校に激減しました。（2003年度は39校）県内を四つの地区に分けていますが、地区大会の開催も危ぶまれてきましたところもあります。合同公演などを通じて部員減少に歯止めをかけたいと思っています。

### 【各地区大会上演一覧 ◇は創作】

#### 【周防地区】

岩国総合「ロンリー・ラスト・デイズ」	久保田奈美◇
光丘「ドリームショップへようこそ」	クロカゼ
新南陽「TUBASA」	大垣ヤスシ
華陵「テキハドコダ」	雅陵鳳雛◇

#### 【山防地区】

山口鴻城「だから、僕は笑顔でいるよ」	渚太陽◇
西京「年中無休」	内藤鉄平
防府西「今夜はすき焼き（仮）」	新井繁
山口中央「ホット・チョコレート」	曾我部マコト
防府商業「ジャンク？ギャング」	高橋大

#### 【下関地区】

下関工業「あさぎり荘～ただいまやる気インストール中」	演劇部◇
田部「ハッピーエンド」	演劇部◇
下関中等「B・HAPPY」	橋口征司
長府「同級生」	石原哲也
下関西「Time Travel」	田中茉莉奈
下関商業「夏の詩」	演劇部◇
下関南「青いとり」	演劇部◇

#### 【宇部地区】

宇部西「7月上旬」	四次元空間の詐欺師
サビエル「サソリ砂漠のル・ブティ・プランス」	サン=テグジュペリ
宇部中央「休み時間」	演劇部◇
宇部「かげの歌」	ぼぶ☆れのん
宇部フロンティア大学付属香川「トイレはこちら」	別役実

## 放送部門

理事長 吉川佳子  
(山口高等学校教諭)

### 〈第29回山口県高等学校総合文化祭開会式並びに音楽4部門発表会〉

6月14日(木) 15日(金) 16日(土)

宇部市渡辺翁記念会館

宇部高校の生徒が司会を担当しました。

### 〈第31回全国高等学校総合文化祭(島根大会)〉

8月1日(水) 2日(木)

島根県松江市くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)

1日 アナウンス部門

二宮由佳理(岩国高校)

藤本美智子(徳山高校)

神出 江美(徳山高校)

オーディオピクチャー部門

「おさん狐は今…」(岩国総合高校)

ビデオメッセージ部門

「三作神楽」(徳山高校)

2日 朗読部門

安達 垣美(熊毛南高校)

米田 光里(岩国総合高校)

岡村 奈美(山口高校)

### 優秀賞

アナウンス部門

徳山高校 藤本美智子さん

### 審査員特別賞

アナウンス部門

徳山高校 神出江美さん

山口県で参加した生徒みんなで城下町の情緒漂う松江の町を歩いてジェラートを食べて交流しました。

### 〈放送部研修会〉

8月11日(土) 10:00~15:00

山口高校会議室

NHK山口放送局アナウンス室副部長藤井克典氏によるアナウンス・朗読の講習

熱気あふれる研修会となりました。

### 〈第29回山口県高等学校総合文化祭第14回放送大会〉

11月3日(土)

ニューメディアプラザ山口(山口市)

参加校11校、アナウンス部門18名、朗読部門28名、オーディオピクチャー部門3作品、ビデオメッセージ部門4作品でした。



## 将棋部門

理事長 岡 茂樹  
(防府高等学校教諭)

将棋部門が山口県高等学校文化連盟に加盟して12年目になりました。事務局は防府高校で例年通り3つの事業を実施しました。

### 1. 山口県高等学校総合文化祭 総合開会式の慶祝展示

宇部高校・宇部工業高校が担当で、6月14日（木）～16日（土）にかけて宇部市渡辺翁記念会館を会場に開催された総合開会式で、将棋部門大会の様子を撮影したパネル写真を展示しました。また、総合開会式では構成劇「君の夢」にも出演し、部門紹介をしました。

### 2. 第29回山口県高等学校総合文化祭

#### 将棋部門大会 兼

第43回全国高等学校将棋選手権大会県予選  
防府高校の担当で、5月26日（土）27日（日）の2日間、防府市文化福祉会館で開催されました。22チーム71名の参加で、初日は団体戦。2日目は11校75名の参加で、男女の個人戦が繰りひろげられました。団体戦は気合い充分の宇部工業高校が宇部高校を破り、連覇はV9でストップ。嬉しい初優勝を飾りました。山口県を新しい風が吹き抜けていきました。また、男子個人戦は下馬評通り岩国工業高校の熊谷君が優勝。女子個人戦は久々に4人が参加し、防府高校の伊原さんが3連勝で初優勝しました。将棋を始めて8ヶ月程度ですが、終盤のしっかりした指し回しが光りました。日本将棋連盟山口支部の先生方の熱心なご指導も受けることができ、2日間で百名を超える参加者で大盛況の大会でした。

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会  
防府高校の担当で、11月4日（日）に防府市文化福祉会館で開催しました。先生方は大会運営の研修と情報交換。生徒は、対局を中心とした棋力向上を図る内容でした。1・2年生を中心に8校、50名の参加がありました。北村公一アマ六段、奨励会の田中佳久初段の御協力を得て指導対局、大盤解説をしていただきました。

#### 《研修対局の結果》

##### ○男子

- |    |       |          |
|----|-------|----------|
| 1位 | 香具 直希 | (宇部高校2年) |
| 2位 | 足立 正好 | (防府高校2年) |
| 3位 | 吉田 貴志 | (宇部高校2年) |
| 3位 | 中島 健司 | (宇部高校2年) |
| 5位 | 合力 輝一 | (防府高校2年) |
| 5位 | 池田 啓晃 | (防府高校2年) |

##### ○女子

- |    |       |          |
|----|-------|----------|
| 1位 | 伊原 綾菜 | (防府高校2年) |
| 2位 | 藤上由莉佳 | (宇部高校1年) |
| 3位 | 足立 陽子 | (防府高校2年) |

年末に岡山市で行われた中国新人大会では、伊原さんが優勝、足立さんが準優勝と山口県勢女子の活躍は見事でした。



## 文芸部門

理事長 国嶋洋治

(徳山商工高等学校教諭)

今年度の文芸部門の活動状況を報告します。

### 1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

文芸部門は、第4回文芸コンクール入賞者が自身の受賞作のイメージを絵画等に描き、額装にしたものを11作品展示しました。あわせて県内の各高校の文芸誌及びコンクール作品集を展示しました。

### 2. 全国高等学校総合文化祭京都大会

7月30日（月）から8月1日（水）の3日間、島根県出雲市大社文化プレイスを会場として、全国総文祭文芸部門大会が開催されました。山口県からは、山口高校1名、西京高校1名、徳山高校1名、下関南高校1名の計4名が参加しました。大変有意義な大会でした。

### 3. 文芸部夏季研修会

8月17日（金）周南市ふれあいセンターを会場に文芸部門研修会を開催しました。

今回は文芸道場の中国ブロック大会についての生徒実行委員会を中心に各校の係り役割や他県からの来客の迎え方などの研修を行いました。その後、各校の情報交換をして交流を深め、また教員は中国ブロック大会についての話し合いを持ちました。

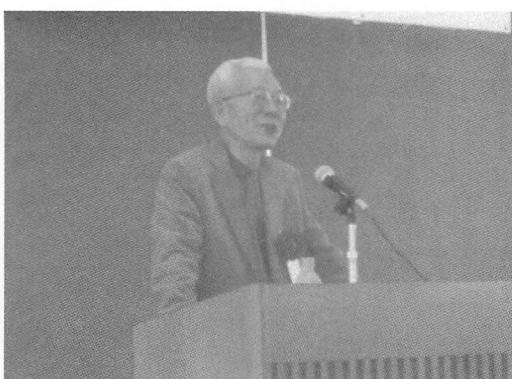
### 4. 第5回文芸コンクール

今年度の県コンクールには15校114作品の応募があり、この中から各部門最優秀5作品、学校特別優秀賞4校、入選10作品を選びました。

1・2年生のみの応募でしたが（全国総文に推薦のため）力作ぞろいで内容の濃い作品集になったと思います。

### 5. 第9回高校生文芸道場中国ブロック大会（山口大会）

11月17日（土）文芸道場中国ブロック大会が、周南市ふれあいセンターで開催され、本県は2回目の引き受けということもあって、大会運営も実行委員が少ない中でも手馴れた感が見られました。大会にあわせて行われた作品コンクールには山口県から4校26作品が応募し、文芸誌部門で山口高校が優秀賞、散文部門に防府高校が優秀賞・入選、詩部門に萩高校が入選に選ばれるなど優秀な成績をあげました。今後も大いに期待できます。なお来年度は鳥取県の引き受けとなり文芸専門部一同優秀な作品が入賞し全国総合文芸道場に推薦されることを願っております。



# 第29回 山口県高等学校総合文化祭の記録

## 総合開会式

会場：宇部市渡辺翁記念会館

主管校 豊田恵美  
(宇部高等学校教諭)



第29回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、第1回山口県総合芸術文化祭の協賛事業として、『大空に放て 大地に響け 君の夢』のテーマのもと、平成19年6月14日（木）13時から宇部市渡辺翁記念会館で盛大に開催されました。今年度は厚狭地区担当のため、宇部・小野田・厚狭地区の各高等学校が協力して運営にあたり、宇部高等学校は主管校としてお世話をしました。

総合開会式の式典は、宇部高等学校生徒代表の真崎達也さんの開会宣言、宇部地区高等

学校合同吹奏楽団演奏のファンファーレにより開幕。八幡フミエ山口県高等学校文化連盟会長、山口県教育委員会教育長、井本雄三宇部高等学校生徒会長のあいさつに続き、藤田忠夫宇部市長よりあたたかな歓迎の言葉をいただきました。

続いて山口県高等学校文化連盟より、功績賞、優秀芸術文化賞、テーマ最優秀賞の表彰がありました。

「功績賞」は、高文連会長として多大な功績を残された中島俊泰先生、長年吹奏楽の指

導に携わり、多大な功績を残された岩崎隆司先生、高文連吹奏楽部門理事長として多大な功績を残された藤本博途先生の3名が受賞されました。

「優秀芸術文化賞」は、全国高等学校総合文化祭囲碁部門で女子個人戦3位に輝いた横田仁美さん（防府高）、全国高等学校総合文化祭放送朗読部門で優秀賞に輝いた浅谷結花さん（山口高）の2名が受賞されました。

また、今年度高等学校総合文化祭テーマに選ばれた宇部高等学校2年の小幡みづきさんには「テーマ最優秀賞」が授与されました。

専門部紹介は「君の夢」というテーマのもと、昨年に引き続き山口県鴻城高等学校演劇部を中心となり演劇仕立てで紹介されました。また、実際の将棋部（宇部高）、書道部（防府高）などもパフォーマンスを披露しました。

慶祝演奏のオープニングは宇部鴻城高等学校太鼓部による「創作太鼓」、続いて観客の目を

釘付けにした山口県鴻城高等学校吹奏楽部によるマーチング「P A Y L O R D」、宇部地区合同吹奏楽団によるマーチ「ブルースカイ」と「オーメンズオブラブ」、最後は山口県高等学校合唱団と管弦楽団合同の「ハレルヤ」「大地讃頌」が演奏されました。会場に感動の余韻が残る中、観客の皆さんと「翼をください」を大合唱し、2時間に及ぶ開会式の幕を閉じました。司会進行アナウンスは宇部高等学校が担当しました。

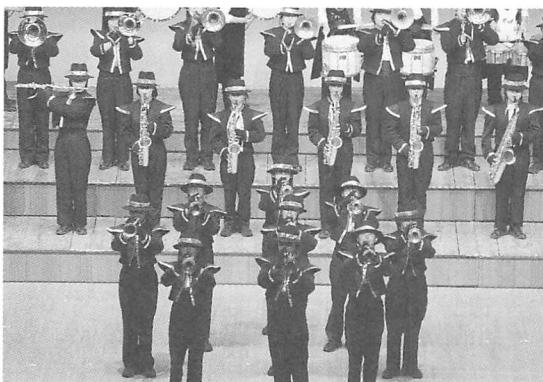
また、渡辺翁記念会館2階ロビーでは慶祝展示が行なわれ、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、演劇、文芸部門から多くの出品、展示がありました。

最後に、この大会を開催するにあたり、関係諸機関、多くの先生方、生徒の皆さんのご協力をいただき、無事に終了することができましたことを心より感謝し、お礼申し上げます。





▲会長あいさつ



▲慶祝演奏・演技

▲慶祝展示



▲記念演奏

## ◇慶祝演奏・演技

- ◇ [日本音楽] “創作太鼓”  
【演奏】宇部鴻城高等学校太鼓部
- ◇ [マーチングバンド] “PAYLOAD”  
【演奏】山口県鴻城高等学校吹奏楽部  
(指揮) 神宮司勇希(山口県鴻城高校)
- ◇ [吹奏楽]  
“マーチ「ブルースカイ」”  
“オーメンズ オブ ラブ”  
【演奏】宇部地区高校合同吹奏楽部  
(指揮) 豊田 恵美(宇部高校)
- ◇ [合唱、器楽・管弦楽]  
“オラトリオ《メサイア》”より  
『ハallelヤ・コーラス』  
“カンタータ《土の歌》”より  
『大地讃頌』  
【演奏】山口県高等学校合唱団  
山口県高等学校管弦楽団  
(指揮) 三好 五郎(宇部中央高校)
- ◇ [全員合唱]  
“翼をください”  
【演奏】山口県高等学校合唱団  
山口県高等学校管弦楽団  
(指揮) 三好 五郎(宇部中央高校)
- ◇ [放送] 幕間出演および進行アナウンス  
山口県立宇部高等学校

## ◎慶祝演奏出演校

- [日本音楽]  
宇部鴻城高等学校
- [マーチングバンド]  
山口県鴻城高等学校
- [宇部地区高校合同吹奏楽団]  
宇部、宇部商、小野田、慶進  
各高等学校
- [山口県高等学校合唱団]  
宇部 宇部中央 サビエル 防府 山口中央  
中村女子 萩 野田学園 萩光塩学院  
各高等学校
- [山口県高等学校管弦楽団]  
下関南 柳井 防府 山口中央  
各高等学校

## ◎慶祝展示

- ◇ [美術・工芸]  
宇部中央 宇部商業 宇部西 サビエル 厚  
狭 宇部養護 宇部  
各高等学校及び学校
- ◇ [書道]  
宇部西 宇部中央 宇部  
各高等学校 高文連書道部会
- ◇ [写真]  
西京 新南陽 小野田工業 宇部工業  
各高等学校
- ◇ [囲碁]  
(各大会風景)
- ◇ [将棋]  
宇部 宇部工業 宇部鴻城  
各高等学校
- ◇ [演劇]  
長府 防府商業  
各高等学校
- ◇ [文芸]  
徳山 西京 山口 下関南  
各高等学校

## ◎山口県高等学校文化連盟表彰者

- [功績賞]  
中島 俊泰…平成16年度より3年間に渡り、会長として本連盟の発展と本県高校文化活動の充実に多大な功績を残した。
- 岩崎 隆司…長年に渡って吹奏楽の指導に携わり、本連盟の発展と本県高校文化活動の充実に多大な功績を残した。
- 藤本 博途…平成13年度より3期6年間に渡り、吹奏楽部門理事長として本連盟の発展と本県高校文化活動の充実に多大な功績を残した。
- [優秀芸術文化賞]  
横田 仁美…第30回全国高等学校総合文化祭(京都大会)囲碁部門  
女子個人戦 第3位
- 浅谷 結花…第30回全国高等学校総合文化祭(京都大会)放送朗読部門 優秀賞
- [テーマ最優秀賞]  
小幡みづき(山口県立宇部高等学校)

第29回山口県高総文祭の記録

## 音楽関係 4 部門発表会

### 器楽・管弦楽部門

会場：宇部市渡辺翁記念会館

理事長 飯田幸生  
(下関南高等学校教諭)

平成19年度第29回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月15日（金）、16日（土）の2日間にわたり宇部市渡辺翁記念会館において催されました。また、前日14日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年度も去年に引き続き合同オーケストラを編成し、県下4校の管弦楽部の代表たちが集い、70名を越える大編成で演奏できました。演奏曲目は去年に引き続き、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から“ハレルヤ・コラス”そして佐藤真作曲のカンタータ「土の歌」より“大地讃頌”的2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、宇部中央高等学校の三好先生

の躍動感あふれる力強い指揮のもとで、開幕式典にふさわしく莊重で輝かしい音楽が見事に演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたことと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたって開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ4校、ギター・マンドリン合奏2校、弦楽合奏1校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校ともに弦楽器の艶やかで柔らかい音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

次回の下関大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に発揮されることを期待しています。



## 合唱部門

会場：宇部市渡辺翁記念会館

理事長 三好五郎  
(宇部中央高等学校教諭)

平成19年度第29回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月14日（木）「宇部市渡辺翁記念会館」にて、盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門との合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラとの大合唱（野田、中村女子、宇部フロンティア大学付属香川、山口中央、宇部中央、サビエル、萩、萩光塩、宇部、防府の10校・計164名）は、ホール一杯に美しく響き渡り満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。演奏曲目は例年通り「ハレルヤコーラス」と「大地讃頌」、会場のみなさんとの「翼をください」でした。大地讃頌は今までの調（原調より高い調）から原調に戻して演奏した事が良かったと思います。日頃少人数でしか活動出来ない学校の生徒達も、毎年の事ながらオーケストラとの共演で、とても貴重な体験をすることができました。

また、音楽部門4部門の発表は、6月15日（金）、16日（土）の2日間にわたり、高校生の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門

の出演校は、単独で出演したのが5校（宇部中央、防府、宇部フロンティア大学付属香川、野田、萩）で出演者は約140名でした。また今年度は全国総合文化祭に山口県高等学校合同合唱団（宇部中央・山口中央・防府・萩光塩学院）で出演予定の演奏が発表されました。どの団体の演奏もよく工夫されたプログラムで、美しく柔らかい歌声が響き渡り、個性あふれる演奏だったと思います。

問題点としては、この所、合唱部員が少なくなり参加校が減少しています。そのため地域や学校格差が広がっています。生徒数の減少や指導者不足が影響していると思いますが、もっと積極的に一人でも多くの合唱仲間を増やしていきたいものです。

「吹奏楽」もいいけど是非合唱も取り入れて合唱に参加してくださるよう各校にお願いいたします。

来年度は、「下関市民会館」で開催されます。また次回もすばらしい演奏を期待します。



## 吹奏楽部門

会場：宇部市渡辺翁記念会館

理事長 西村正浩  
(美祢高等学校教諭)

平成19年度第29回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、6月14日（木）宇部市渡辺翁記念会館で開催されました。吹奏楽部門は宇部地区高等学校合同吹奏楽団（慶進、宇部、宇部商業、小野田）を編成し、宇部高校豊田恵美先生の指揮のもと、開幕式典でファンファーレ、慶祝演奏でマーチ「ブルースカイ」、オーメンズ・オブ・ラブを披露してくださいました。

音楽4部門発表会は翌15日（金）、16日（土）の2日間開催され、52校1963名の吹奏楽部員が参加し、すばらしい演奏を披露しました。

一日目の最後は防府西高校（中川聰先生指揮）二日目の最後は長府高校（吉永暁子先生指揮）の伴奏で「翼をください」を会場全員で合唱し盛会のうちに発表会を終えることができました。最後になりましたが主管校の宇部高校をはじめ、宇部地区の生徒、先生方には大変お世話になりました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

来年度は下関市民会館を会場に長府高校の主管で開催されます。すばらしい会になることを期待しております。



## マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：宇部市渡辺翁記念会館

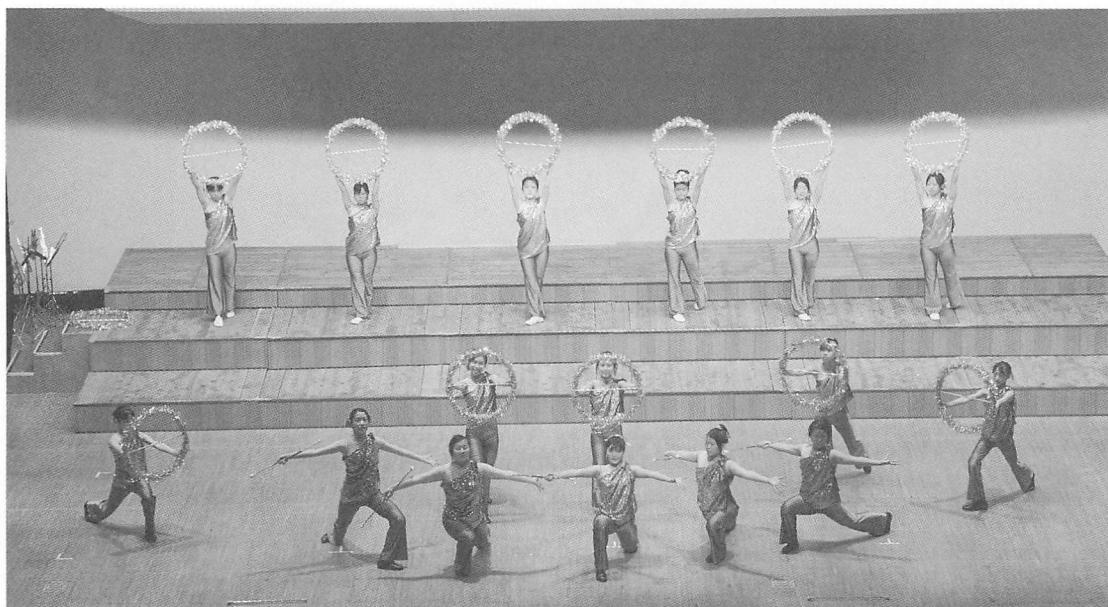
理事長 繩田道孝  
(山口県鴻城高等学校教諭)

第29回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、平成19年6月14日（木）「大空に放て大地に響け　君の夢」というテーマのもと、山口県立宇部高等学校主管で宇部市渡辺翁記念会館にて盛大に開催されました。昨年度に引き続き各専門部紹介を構成劇「君の夢」という形で披露しました。続いて慶祝演奏では、山口県鴻城高等学校吹奏楽部によりステージドリルが披露されました。

翌日の音楽4部門発表会では、本部門は、

山口県鴻城高等学校・慶進高等学校・誠英高等学校の3校が参加しました。バトントワリングでは、慶進高等学校と誠英高等学校がそれぞれ演技し、日頃の練習の成果を発表しました。マーチングでは、山口県鴻城高等学校が素晴らしいステージパフォーマンスを披露しました。

来年度は、下関市民会館で開催されます。また、素晴らしい演奏演技を披露されることを期待しています。



## 日本音楽・吟詠部門

会場：山口南総合センター

主管校 藤井美枝  
(山口県鴻城高等学校教諭)

『大空に放て 大地に響け 君の夢』の大会テーマのもと、6月16日（土）第29回山口県高等学校総合文化祭、日本音楽・吟詠部門の発表大会が、山口南総合センターで開催されました。毎年、雨の心配をしつつ迎える大会ですが、幸い降雨もなく無事に終了することができました。

県下15校（演目数17）の参加を得て100余人の高校生達が、日本音楽という名の下に集いました。箏曲あり、吟詠あり、太鼓演奏、三味線演奏ありのまさに日本音楽の祭典でした。

昨今の日本音楽の低迷を受けて高校の部活動としても部員の確保が難しく、なかなか思うような練習・演奏ができないのが実情ではあります。参加した生徒の皆さんは皆真剣でその演奏には感動しました。また、「お互いの演奏も鑑賞しよう」という数年前からの呼びかけにほとんどの高校が、最後の閉会式の講評まで聞いていただいたことは、主管校としても大変うれしく思いました。

講評者山崎先生の暖かい励ましのご講評、次期主管校の江村校長先生の『日本音楽の余韻について』と、「来年もお待ちしています」というお言葉で、また来年に向けての励みになったことと思います。

手探り状態の1年で、何とかこのような大会ができたのは、関係の皆様のご指導と、本校教職員の協力のおかげと心より感謝しております。日本音楽のすばらしさを知って頂く入り口になれば、と思いつつ大会を閉じました。いろいろありがとうございました。

次に、本校の『鴻城新聞』に載せた生徒の感想文を転載します。

南総合センターにて

箏曲部3年 古屋 春奈

日本の伝統音楽、主に箏曲（琴）、三味線、太鼓などで活動している部活が集まり、一年間練習してきたものを発表しあう県大会が6月16日に山口南総合センターがありました。これは毎年一度県内

で行われるもので、今回その会の主管校が山口県鴻城高校でした。今年になってからは、準備や練習に追われ、顧問の先生と共に毎日あわただしくすごしていました。前日・当日は、忙しい中たくさんの方々にお手伝いいただき、おかげで無事に大会を終える事が出来ました。この場を借りてお礼を申し上げます。私達も感謝の心を胸に曲を演奏しました。

今回私達が選んだ曲目は「月に寄せる日本うた」という、その名の通り月に関連した曲をメドレーにしたものでした。最初に二箏の美しい和音から始まり十七弦の重みのある音、そして一箏の流れる様なスピード感溢れるリズムで構成されていて曲と曲の間には、三年生三人によるソロ演奏もありました。講師の先生方のもと何度もやり直し、深みのあるものに仕上げることができました。又、一年生もたった二ヶ月という短い期間の中で部活の日以外も学校に来て練習をして、曲を完成してくれました。その努力が実り本番は今まで一番すばらしい演奏がきました。

その努力と、主管校であるということで私達は八月に行われる全国の発表会に出る事になりました。これまで以上の練習を重ね、より良い演奏が出来るよう部員一同頑張りたいと思います。



# 展示3部門

美術・工芸、書道、写真部門

会場：ときわ湖水ホール

主管校 蒲里果

(宇部中央高等学校教諭)

「大空に放て 大地に響け 君の夢」のテーマのもと、平成19年11月16日（金）～18日（日）の3日間にわたり開催されました。

会場は宇部ときわ湖水ホールの大ホールとミーティングルームを使って行いました。大ホールは天井が高く、ミーティングルームは写真部門のみで展示することができたため、狭さはありませんでしたし、生徒の作品もよく映えたのではないかと思います。ただ、展示専用では無いため、光源が少なく多少暗く感じる展示スペースもあったと思います。

会期は希望したように、下記のとおり11月に決定しました。

## 〈日程〉

11月15日(木)	11月16日(金) 17日(土)	11月18日(日)
9:00 会場設営 15:30 審査会 17:00 閉館	9:00 開館 17:00 閉館	9:00 開館 13:00 表彰式 13:30 講評会 16:00 展示終了 作品返却

## 〈作品応募について〉

10月1日が締め切り日で、応募校46校、応募点数はそれぞれ、美術・工芸124点、書道79点（共同作品を含む）、写真70点でした。

## 〈準備段階〉

5月に校内委員会を立ち上げ、6月29日に市内各高校との第1回の会議を行いましたが、本番の11月は学校の文化祭の日程と重なった学校が多く、運営期間の分担や協力生徒を集めることに苦慮しました。

目録作成では、2度校正を行いましたが、難しい字が多い書道部門は、理事長の有富先生に校正をしていただきました。おかげさまで、良い目録ができたと感謝しております。

第2回の会議は湖水ホールで会場を見ながら、当日の動きや設営について、具体的に話し合いました。当日までに、パネル配置や表彰式についての問題点が解決できて良かったと思います。

## 〈設営段階〉

11月15日（木）宇部地区の高校美術部、書道部、写真部の生徒諸君と顧問の先生、そして主管校である宇部中央高校の先生方に、設営と作品受付をしていただきました。

今年は、部門別に受付を行いましたが、搬出の面から考えても、梱包材が混ざらず良かったと思います。湖水ホールはワイヤーなどの展示用具が足りなかったため、宇部市民館からSカンやチェーンをお借りしました。宇部市で展示をする場合は、市民館の協力がない場合、金具を別予算で組んでおく必要があると思います。

各学校とも文化祭などで忙しい中、協力していただき、予定の時間内に全ての作業を終えることができました。

## 〈会期中〉

来場者数は次のとおりです。

11月16日（金）	/ 17日（土）	/ 18日（日）
37人	139人	384人

18日は表彰式・講評会がありましたので、来場者はまずまずでしたが、16日は平日ということもあり、思ったより少なかったと思います。

## 〈表彰式・講評会〉

18日午後、ミーティングルームで表彰式が厳かに行われました。主催者、来賓、生徒代表の挨拶や紹介に続いて高文連会長より第32回全国高等学校総合文化祭出品候補者に表彰状が授与されました。群馬大会の参加と成果を期待したいと思います。

表彰式の後、部門別に講評会を開きましたが、多くの参加者からの質問があり、好評のうちに終わりました。

## 〈終了後に〉

主管校を引き受け、半年間大変でしたが、多くの先生方の支えや経験者からの助言で何とか無事に終えることができ、本当に感謝しています。来年度引き受けの下関地区でも良い大会になりますように願っております。



## 美術・工芸部門

総出品点数124点の、レベルの高い作品が集まりました。今年は特に平面作品に高水準のものが多く、審査もかなり慎重に行いました。絵画もデザインも、技術的に高いだけでなく、個人の発想がいかに表現できているか、着想にオリジナリティがあるかに重点を置きました。

作品のレベルが上がれば審査が厳しくなるのも道理ですが、受賞に値するレベルの作品に、賞を授与できなかったのは残念です。今回受賞されなかった生徒諸君にも、顧問の先生方から適切なご指導をいただきますよう、この場を借りてお願ひいたします。

立体では空間デザインやインスタレーション的な作品も出品され、その中から昨年に続き集団制作のものが全国候補に選ばされました。

(理事長：宮崎)

## 書道部門

書道部門には県内25校より78点が出品され、厳正な審査により、来年の全総文群馬大会への出品候補作品4点を含む優秀賞10点が選ばされました。会場の宇部ときわ湖水ホール展示室には各校から出品された臨書や創作作品が所狭しと展示され、まじめに取り組まれた作品からは、高校生らしく溌剌としたエネルギーを感じることができました。

最終日の講評会は、宇部高校の松田政道先生に講評をいただきました。細かな筆遣いから全体のまとめ方まで、1点1点丁寧に解説していただき、参加生徒は明日の作品制作への意欲を感じてくれたものと思います。自分の作品を批評してもらうことは作品を次に生かす何より大切なことです。講評会への参加者がさらに増え、この文化祭を意義深いものにしたいと強く願っています。

(理事長：有富)

## 写真部門

今年度は、11月15日（木）から18日（日）にかけて、宇部ときわ湖水ホールにて行われました。今年の出品は、総数68点（11校・44名）で、優秀作品は10%の7点となりました。

開催日前日の11月14日（水）午後に、二科会会員 堀田俊秀氏による審査が行われ、「平成20年度第32回全国高等学校総合文化祭 写真部門 群馬大会」の出品候補作品5点、ならびに優秀賞2点が選出されました。

群馬大会への出品が決定した高校は、下松工業高校（2点）・新南陽高校・宇部高校・下関西高校の4校です。作品の詳細については、本冊子の「第29回 県高総文祭展示部門優秀作品一覧」をご覧下さい。

作品全体の作者男女比を見ると、男子38%女子62%で、女子の部員がかなり増加しています。また、昨今、電子機器全般のデジタル化が急速に進み、主流であったフィルム式カメラの販売は落ち込み、デジタルカメラの購入が急増しております。携帯電話へのカメラ機能の搭載、またその性能の向上などにより、気軽に写真と触れ合える時代になりました。今後は、高校の写真部の活動の中にも、デジタル化の波が大きく押し寄せるのではないかと思われます。デジタルカメラによる撮影であっても、画像処理などによりモノクロ仕上げが可能です。従来のような暗室作業を必要としない作品作りができる時代になりました。今後、デジタル処理をした作品も、銀塩作品と同等に扱う県内審査規定が必要になるのではないかと感じました。

この大会に際しまして、主管校である宇部中央高校の蒲先生、地区協力校である宇部高校の阿部先生、小野田工業高校の山崎先生、宇部工業高校の大濱先生、そして大会役員の諸先生方には特にお世話を頂きました。補助員生徒の皆さんも含め、厚く御礼申し上げます。

最終日の18日には、毎年恒例の「写真部会主催2007年度 撮影研修会・コンテスト」を催しました。やや肌寒く、強風により撮影コンディションはあまりよくありませんでしたが、審査委員長・引率教諭を含め、参加者約20名で実施しました。ときわ公園内の施設などで撮影し、審査の結果、以下の皆さんの作品が上位入賞しました。

## 第29回 県高総文祭展示部門出品校一覧表

No.	学校名	美術	書道	写真	No.	学校名	美術	書道	写真
		作品数	作品数	作品数			作品数	作品数	作品数
1	安下庄	3			25	美祢	5		
2	岩国	5	4		26	大嶺	2		
3	岩国総合		4		27	豊浦	5		
4	岩国商業	2			28	豊北		4	
5	岩国工業	4			29	長府	5	1	
6	柳井	4			30	下関西	2	3	6
7	熊毛南上関分校			6	31	下関南	5		
8	光	3		7	32	大津	1		
9	光丘	3	2		33	萩商業		1	
10	下松工業			6	34	萩商工	5	4	
11	徳山		3		35	下関商業	5	4	
12	新南陽	5		10	36	下関中等	5	4	
13	南陽工業			1	37	防府養護		3	
14	防府	4	4		38	徳山養護		4	
15	防府西	5	2		39	山口養護	3		
16	山口	5	4		40	高水	2	4	
17	山口中央		4		41	柳井学園			2
18	西京	5		10	42	誠英	5		
19	宇部	4	2	6	43	中村女子		4	
20	宇部中央	5	3		44	野田学園		1	
21	宇部西	4	3		45	慶進	5		
22	宇部商業	4			46	萩光塩学院	4	2	
23	宇部工業		4	10	共同作品			1	
24	小野田			6	合計		124	79	70

## 第29回 県高総文祭展示部門・優秀作品一覧(全国高総文祭候補作品)

### 美術・工芸部門

〈優秀賞・全国候補作品〉

学校名	学年	氏名	題名	大きさ
岩国商業高等学校	2	片岡未祐 角佳苗 山崎ひとみ 河角咲 蕗井采華	悲劇三十六景	100×93×70
山口高等学校	2	前田黎	ショク	B 1
長府高等学校	1	原ひかる	渦巻く猫	F 50
下関西高等学校	2	松尾摩耶子	未来想定	F 50
豊浦高等学校	2	城島はる香	Clown or Crown. 正解は鏡。	F 50
萩商工高等学校	2	杉本彩乃	another world	B 1

〈優秀賞〉

学校名	学年	氏名	題名	大きさ
岩国高等学校	2	内山知美	T I K U輪	F 50
岩国高等学校	2	嶋司香苗	置き去り	F 50
岩国高等学校	1	松重裕美	ゆれる	F 30
光高等学校	1	吉田里奈	カメ日和	F 50
光丘高等学校	3	木村夏実	天地	F 30
防府高等学校	2	足立陽子	秋の静けさ	F 50
山口高等学校	2	山根千尋	ワラワラ	F 50
山口高等学校	1	大堀知広	室内水族館	B 1
西京高等学校	1	宮田理沙子	サークス	B 1
宇部高等学校	2	進士美保	黙する	F 50
宇部商業高等学校	3	江本香	部屋とTシャツと灯り	F 30
美祢高等学校	1	半澤須奈緒	空	F 30
豊浦高等学校	2	稲村智美	ひと = 玩具	F 50
豊浦高等学校	2	藤井あゆみ	見たかったのは、こんな世界 一目がなくなればいいのにー	F 50
萩商工高等学校	2	岡藤加那子	武道場	F 50
萩商工高等学校	2	大田亜耶	UNKNOWN	F 50
誠英高等学校	2	松永真実	去りゆく君に	75.5×53.5
慶進高等学校	3	菊永苑花	君のいる地球	B 1

## 書道部門

〈優秀賞・全国候補作品〉

学校名	学年	氏名	題名	大きさ
岩国高等学校	2	国重美南	臨 曹全碑	半切り縦
山口高等学校	2	鹿嶋佳奈子	臨 伊都内親王願文	半切り縦
下関商業高等学校	2	玉川えり	臨 雁塔聖教序	半切り縦
下関中等教育学校	1	原 豊	臨 中務集	全紙1/2

〈優秀賞〉

学校名	学年	氏名	題名	大きさ
徳山高等学校	2	山縣和奈	「樹」	全紙1/2
山口高等学校	2	平田晶子	臨 集字聖教序	半切り縦
長府高等学校	2	原田万美	臨 牛欄造像記	半切り縦
下関西高等学校	2	大谷ゆかり	臨 石鼓文	半切り縦
下関商業高等学校	2	池田栄	臨 孔子廟堂碑	半切り縦
下関中等教育学校	1	廣田龍一郎	篆刻十二支	全紙 1/2

## 写真部門

〈優秀賞・全国候補作品〉

学校名	学年	氏名	題名	大きさ
下松工業高等学校	2	岡村和典	大きくなったね	全紙
下松工業高等学校	2	河島龍興	ナイスキャッチ	全紙
新南陽高等学校	2	藤井祐里	演劇稽古	4切
宇部高等学校	2	沖原徹	青春の1ページ	半切り
下関西高等学校	1	徳永五月	仲良し	4切

〈優秀賞〉

学校名	学年	氏名	題名	大きさ
光高等学校	3	棟近直紀	to be continue	全紙
光高等学校	3	坪内良憲	プリマドンナ	全紙

第32回全国高総文祭（群馬大会）候補作品は、上記の美術・工芸6点、書道4点、写真5点

## 囲碁部門

会場：山口県立徳山商工高等学校

理事長 広瀬泰夫  
(徳山商工高等学校教諭)

第29回山口県高校総合文化祭囲碁部門・第19回大会兼第31回全国高等学校文化連盟囲碁部門第21回大会県予選は10月28日(日)、山口県立徳山商工高等学校で開催されました。参加校は17校、参加者数は60名で昨年度と同じでした。今年も昨年度に引き続き、全国大会代表・中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦に分けて、県内の全高校に参加を募ったところ、男子代表決定戦には16名、女子代表決定戦には8名、段級位認定戦(男女混合)には36名の選手が集まりました。試合の進行はすべてスイス方式に従い、男子代表決定戦は4回戦、女子代表決定戦は3回戦、段級位認定戦は4回戦を戦ってもらいました。

大会の成績は以下の通りです。

### 〈団体男子〉

優勝 山口県立下関西高等学校  
準優勝 山口県立山口高等学校

### 〈団体女子〉

優勝 山口県立徳山商工高等学校

### 〈個人男子〉

優勝 山口県立山口中央高等学校  
阿武 貴裕

二位 山口県立下関工業高等学校

藤本 裕樹

三位 山口県立下関西高等学校

河野 浩和

### 〈個人女子〉

優勝 山口県立周防大島高等学校

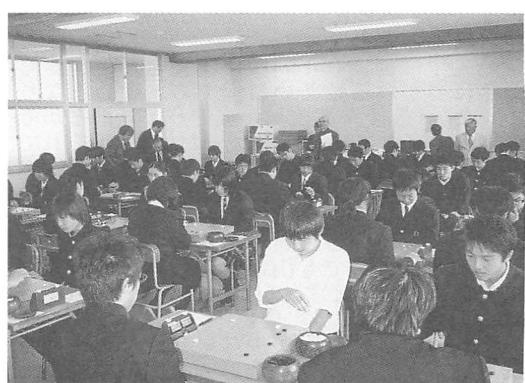
堀本 範子

二位 山口県立徳山商工高等学校

中島 美嬉

個人男子1位と2位、および個人女子1位は来年8月9日、10日に群馬県で開催される全国大会の団体戦のメンバーになります。また個人男子3位と個人女子2位は同じく個人戦に出場します。従来は個人戦に上位者を当てていたのですが、方針を変え、来年度の全国大会では団体戦を重視し、強力な3本の矢で上位進出を狙います。

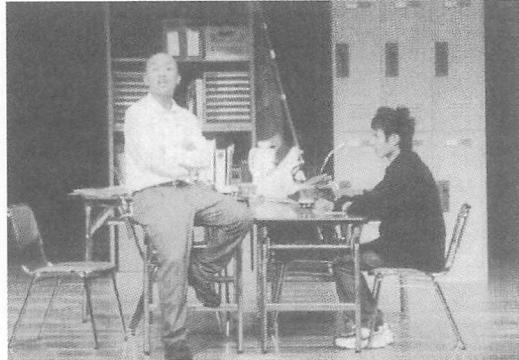
また、本年度は中国囲碁選手権が山口県の引き受けとなっていますので、開催県として、団体戦は男子2校、女子1校、個人戦では団体出場者を除く個人男子8位まで、個人女子5位までが出場可能となりました。



## 演劇部門

会場：周南市新南陽ふれあいセンター

理事長 村岡圭吾  
(山口県鴻城高等学校教諭)



県大会は周南市新南陽ふれあいセンターで行いました。多目的ホールという環境ですので、普段は体育館のような所です。舞台は袖が狭く、各校の大道具置き場に苦労しましたが、フロアにシートを敷いて、仮設の大道具置き場を作つて対応していました。座席は可動式のため、ギンギシと足音が目立ちました。それでも、各校の熱の入つた演技で観客を魅了していました。私も審査員として久しぶりに県大会を見ましたが、あつという間に9校の上演が終わつた気がします。とても有意義な時間でした。

今大会の最優秀賞は3校選ばれました。第45回中国地区演劇発表会が山口市湯田で開催されるにあたり、地元開催枠として例年より1校多い選出となりました。(長府・防府西・華陵)

また秀逸な創作劇も多く、創作脚本賞に下関商業の「夏の詩」が選ばれました。おめでとうございます。会場や講師の都合で、生徒交流会、生徒審査委員賞発表、閉会式などが短縮されて各校にはご迷惑をおかけしました。特に講師の先生のスケジュール調整が難しく、篠崎先生には、昨年同様に審査発表後、すぐ帰路につかれる忙しい日程でのお願ひとなりました。(最優秀賞校へのアドバイスなどがその場で出来ずに申し訳なかったです。) それでも、少ない時間の中で生徒審査委員会は行いました。全国でも続ける様子なので、山口県でも続けていきたいと思います。地区大会や県大会を見ているといつも感じるのですが、どの地区に行っても山口県は観客の数が極端に少ない気がします。(他県はもっといるようです)

それは、広報活動が少ないせいだと指摘を受けました。今後はそういった広報活動に力

を入れて行かなければならないと感じています。それにもかかわらず、加盟校が少ないので、上演校であり、生徒役員で会場の準備等に追われながら、笑顔で受付をし、どのにも大きな声で挨拶をし、接待係としてお茶をくみ、なおかつ観客として他校の劇を見るという1人何役もの役割をこなす演劇部の生徒たちを見ていると、とてもすがすがしい気分になります。そんな生徒たちに逢える演劇の会場に皆さんも是非、足を運んでください。  
(早速広報)

第29回 山口県高等学校総合文化祭演劇部門  
第26回 山口県高等学校演劇大会  
上演一覧（上演順）

学校名	作品名	作者名
新南陽	TSUBASA	大垣ヤスシ
長府	同級生	石原哲也
宇部	かけの歌	ぼぶ☆れのん
防府西	今夜はすき焼き(仮)	新井繁
下関南	青いとり	演劇部
宇部中央	休み時間	演劇部
山口中央	ホット・チョコレート	曾我部マコト
下関商業	夏の詩	演劇部
華陵	テキハドコダ	雅陵鳳雛

〈講師・審査員〉  
篠崎光正（桐朋学園大学短期大学教授）  
山口武信（劇作家）  
村岡圭吾（山口県鴻城高等学校）

## 放送部門

会場：ニューメディアプラザ山口

理事長 吉川佳子  
(山口高等学校教諭)

### 第29回山口県高等学校総合文化祭 第14回放送部大会

平成19年11月3日に山口市のニューメディアプラザ山口で県内11校の参加がありました。エントリーはアナウンス部門18名、朗読部門28名、オーディオピクチャー部門3作品、ビデオメッセージ部門4作品でした。アナウンス・朗読部門の審査は中谷隆宏アナウンサー(山口放送)、井川弘宜アナウンサー(山口朝日放送)、横溝洋一郎アナウンサー(テレビ山口)、番組部門の審査は山口放送テレビ制作部次長の藤田史博さんでした。午前中はアナウンス・朗読部門、午後は番組部門の発表がありました。閉会式の後はそれぞれの審査員に講評をきくことができる機会を設けたところ、多くの生徒が熱心に指導を仰いでいて、閉会式の後もしばらくにぎわっていました。

#### 結果

##### アナウンス部門

###### 最優秀賞

山口県立山口農業高等学校 奥村 文綾

###### 優秀賞

山口県立宇部高等学校 竹内 早紀

山口県立徳山高等学校 戸崎安由美

以上は全国大会推薦

###### 入賞

山口県立熊毛南高等学校 鳥飼友里恵

山口県立徳山高等学校 通山 汐里

山口県立宇部高等学校 原田 千聖

##### 朗読部門

###### 最優秀賞

山口県立光高等学校 窪田美穂子

伊集院静「苺の葉」

#### 優秀賞

山口県立熊毛南高等学校 石原 純香

重松 清「くちぶえ番長」

山口県立山口高等学校 山本有希子

重松 清「くちぶえ番長」

以上は全国大会推薦

#### 入賞

山口県立岩国高等学校 大谷あゆみ

山口県立宇部高等学校 小幡みづき

山口県立山口高等学校 木村友香理

#### オーディオピクチャー部門

###### 最優秀賞

山口県立宇部高等学校

「レクイエム」

#### ビデオメッセージ部門

###### 最優秀賞

山口県立徳山高等学校

「Pちゃんが行く！～笑顔のネットワーク～」



## 将棋部門

会場：防府市文化福祉会館

理事長 岡 茂樹  
(防府高等学校教諭)

第29回山口県高等学校総合文化祭将棋部門大会は、全国高等学校総合文化祭将棋部門大会兼第43回全国高等学校将棋選手権大会の県予選を兼ねて、5月26日（土）27日（日）の2日間開催されました。開会式には山口県高文連会長の八幡フミエ先生、将棋専門部会長の中島俊泰先生、山口県教育庁高校教育課の井上正道先生、事務局の角中悦太郎先生をお迎えしました。団体戦、個人戦の2日間開催も定着し、参加生徒も増え、延べ150人以上のたいへん盛り上がった大会になりました。

団体戦には22チームが参加し、四ブロックに分け総当たりのリーグ戦を行いました。各組1位が決勝トーナメントに進出します。ベスト4に残ったのは宇部工業A、宇部A、宇部B、下関西Aでした。予選リーグで防府Aに敗れた宇部工業Aでしたが、僅差で予選を抜けその勢いのまま決勝トーナメントでは宇部A、下関西Aをいずれも2勝1敗で制し、男子団体戦初優勝を飾りました。

男子個人戦は71人のトーナメント戦を行いました。3回戦までは20分切れ負け制、4回戦から30秒の秒読みがつきます。決勝戦は熊谷君（岩国工）と吉田君（宇部）の対戦になりました。前評判の高かった熊谷君が実力を出し切り、吉田君を振りきって初優勝を飾りました。敗者は敢闘賞を目指す親睦リーグ戦や指導対局を行いました。

女子個人戦は4人の参加で、総当たりのリーグ戦。防府高校の伊原さんが、3連勝で初優勝しました。

### 〈団体戦〉 22チーム

- 第1位 宇部工業高校A  
小川将弘・住友泰輔・野村一幾  
第2位 下関西高校A  
濱田 裕・達見隆秀・古川晃平  
第3位 宇部高校A  
香具直希・吉田貴志・石川勇人

### 〈男子個人戦〉 71人

- 第1位 熊谷安剛（岩国工業高校）  
第2位 吉田貴志（宇部高校）  
第3位 香具直希（宇部高校）  
第3位 石川勇人（宇部高校）  
敢闘賞 吉藤直久（宇部高校）  
羽島博之（宇部高校）

### 〈女子個人戦〉 4人

- 第1位 伊原 紗菜（防府高校）  
第2位 足立 陽子（防府高校）  
第3位 石田ともみ（徳山高校）

団体戦と男女個人戦の優勝者、女子個人戦の準優勝者は島根県出雲市で開催された全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。



## 文芸部門

会場：周南市新南陽ふれあいセンター

理事長　國嶋洋治  
(徳山商工高等学校教諭)

### 文芸道場ブロック大会、文芸部門大会を終えて

今年度は「第9回高校生文芸道場中国ブロック大会（山口大会）」と文芸部門大会を兼ねて11月17日（土）山口県周南市ふれあいセンターで行いました。前回の山口大会はまだ高文連の文芸部門に加盟しておらず、山口県の文芸部のある学校や近隣で協力できる学校での開催でしたが、今回は文芸専門部として、主管で行いました。規模は前回より多少小さくなつたものの、講演会での那須先生の熱のこもったご講演に、先生の作品を幼少のころに読みあさった高校生が多くの感動を得ておりました。また分科会での講師として散文部門は山口県創作懇話会事務局長・水野光生先生、詩部門は山口県詩人懇話会会长・陶山祐二先生、短歌部門は山口県歌人協会会长・音羽章先生、文芸誌部門は梅光学院大学教授・村中李依先生と、山口県下でも名立たる先生方をお呼びできたことは文芸関係者としては大変うれしく思っております。

今回の講師の方々は、昨年第21回国民文化祭山口県大会において各部門で活躍をされた先生方ばかりで、このたびの大会を開催するに当たって、昨年来共同で行事を行い、御協力を仰いでいたしだいあります。各界とのつながりをもったおかげで活動がうまく実を結んだ形となりました。

このたびは各部門ごとにワークショップ形

式をとり、先生方の課題に生徒諸君は熱心に取り組みました。また知らない学校の生徒同士が隣り合って課題に向かい合う風景は、とてもほほえましいものを感じました。主管としましてはよい交流ができたと思っております。今年度の参加校33校185名（生徒153名 教員32名）文芸コンクール作品の出品数散文72作品、詩80作品、短歌47（103）作品、文芸誌の出品校は18校とたくさんの学校から応募がありました。

このたび、山口県立徳山高等学校をはじめ、多くの先生方ならびに文芸部やその他多数の生徒諸君の協力によって、この会を成功に導くことができましたことは、誠に感謝の意に耐えません。また、今大会にご支援、ご協力をいただいた多くの関係者の皆様に心よりお礼申し上げるとともに、大会の成果を各校に持ち帰り、各自がより研鑽を重ね、各校の文芸部門が更なる発展を遂げる事を願っています。



# 第31回全国高等学校総合文化祭の記録

## 悠久の地より吹く新しい風～島根2007～

### 全国高総文祭（島根大会）参加校一覧

部 門	高等 学 校	参 加 生 徒 数	出 品 点 数	備 考（演 奏 曲 目・作 品 等）
パ レ ー ド	慶 進	(12)		
	誠 英	(20)		(2校合同出演) バトントワリングにも出演
演 劇	華 陵	1		生徒講評委員 清木麻衣(3)
合 唱	山口県合同合唱団	39		
	県立宇部中央	(6)		
	県立防 府	(21)		「男なら」 女声合唱とピアノのための組曲「宇宙の果物」より囂
	県立山口中央	(9)		
	萩光 塩 学 院	(3)		
吹 奏 楽	県立岩国工業	17		「ミス・サイゴン」「アルルの女 ファランドール」
器 楽 管 弦 楽	県立下関南	76		交響詩「レ・プレリュード」
日 本 音 楽	山 口 県 鴻 城	5		演目「月に寄せる日本のうた」
マーチングバンド		0		
バトントワリング	慶 進	12		「Maiden Flight」
美 術・工芸	県立光	1	1	絵画「探しもの」 宮本美貴(3)
	県立防 府	1	1	絵画「リハーサル」 足立陽子(2)
	県立山 口	2	1	立体「溶けていくもの」 岡 聖(2)・齋藤友美子(2)
	県立西 京	1	1	絵画「私がいる」新谷 希(3)
	県立下 関 南	1	1	絵画「ハニートースト」 西田早織(3)
	県立萩 工 業	1	1	絵画「Ground」 金子由香里(3)
書 道	県立防 府	1	1	漢字「臨 争坐位稿」 植田隆博(3)
	県立長 府	1	1	漢字「臨 九成宮醴泉銘」 植村安紀(3)
	県立下 関 南	1	1	漢字「花風月雪」 梶谷真未(3)
	県立下関中等教育	1	1	漢字「臨 乙瑛碑」 堀江 瞳(3)
写 真	県立新 南 陽	1	1	単写真「喧騒の狭間で」 藤田 咲(3)
	県立西 京	1	1	単写真「笑顔日和」 藤井 蛍(3)
	県立宇 部 工 業	2	2	単写真「歓喜」 藤川太志(2)「牧場王」金井寿喜(2)
	県立小野田工 業	1	1	単写真「先輩を訪問」 上田啓介(2)
放 送	県立岩 国	1		アナウンス 二宮由佳理(3)
	県立岩 国 総 合	2	1	朗読 米田光里(3) オーディオピクチャー「おさん狐はいま・・・」
	県立德 山	3	1	アナウンス 藤本美智子(3) 神出江美(3) ビデオメッセージ「三作神楽」
	県立熊 毛 南	1		朗読 安達亞美(3)
	県立山 口	1		朗読 岡村奈美(3)
囲碁	県立德 山	1		団体戦(男女混合)木村 悠(3)
	県立防 府 商 業	1		個人戦(女子)赤木香菜(3)
	県立山 口	1		団体戦(男女混合)波多野貴紀(2)
	県立宇 部	1		団体戦(男女混合)三井聰子(3)
	県立下 関 工 業	1		個人戦(男子)藤本裕樹(2)
将 棋	県立岩 国 工 業	1		個人戦(男子)熊谷安剛(3)
	県立防 府	1(1)		個人戦(女子)伊原綾菜(2) 足立陽子(2)
	県立宇 部 工 業	3		団体戦(男子)野村一幾(3)住友泰輔(3)小川将弘(3)
文 芸	県立德 山	1		文芸部誌 小池福美(3)
	県立山 口	1		散文 宮田晃志(3)
	県立西 京	1		詩 井原真希(2)
	県立下 関 南	1		俳句 萩原祐見子(2)
総 合 開 会 式	慶 進	1		郡司睦美(3)
合 計			参 加 生 徒 数	209名



▲式典

▼フィナーレ



▲市街パレード

## 器楽・管弦楽部門

会場：松江市総合文化センター

### 下関南高校 管弦楽部

部長（3年）藤本 優子

今年の夏、第31回全国高等学校総合文化祭島根大会に、私たち山口県立下関南高等学校管弦楽部は、山口県の代表として参加させていただきました。私たちはこの大会にさまざまな気持ちを持って臨みました。

さて、今回のテーマは、『悠久の地より吹く新しい風』というテーマです。意味は、古来からの伝統文化が息づく島根の地から、高校生による新しくさわやかな文化が創造・発信される願いという意味だそうです。私たち管弦楽部は、自分たちの大好きな音楽で、高校生らしく元気よく、プロに負けないような演奏で、この伝統ある全国総文の歴史に名を残し、そして私たちの音楽で新しい風を吹かせようという気持ちでした。

全国大会というのは、私は初めての体験でした。とても憧れていた全国大会に参加できる私たちは大いにはりきりました。全国大会

では、全国のいろいろな地方から高校生が集まるので、どきどきとした緊張と、わくわくとした好奇心でいっぱいでした。同年代の高校生の音楽が聴けて、音楽を楽しむ仲間がいることに、嬉しい気持ちでした。

この島根大会での演奏は、二、三年生にとってこのメンバーでやる最後の演奏でした。二、三年生はとても仲が良く、いつも一緒に練習を頑張ってきました。メンバーは練習をするときは集中して熱心にし、楽しむときは一杯楽しむという、きちんとけじめのついたメンバーです。誰かが困っているときも助け合い、どんなときも支えてくれるメンバーでした。そんな最高のメンバーとプラバホールという最高の場所で演奏できたことを私は幸せに思います。さらに、全国大会という、大きな大会で、多くの人たちに、私たちが最高に楽しみ、たくさんの思いが入った演奏を聴いてもらえて心から嬉しいです。



▲下関南高等学校

## 合唱部門

会場：島根県芸術文化センター

### 心に残った二日間

防府高校 斎藤 愛

私たち「山口県高等学校合同合唱団」は、山口県代表として、全国高校総合文化祭合唱部門に出場しました。「山口県高等学校合同合唱団」とは、山口中央高等学校、宇部中央高等学校、萩光塩学院高等学校、防府高等学校の合唱部で結成した合唱団です。最初の合同練習では、各学校ごとにかたまってしまい、なかなかコミュニケーションがとれず、大丈夫かなと心配になりましたが、徐々に他校の人とも話せるようになり、ひとつの合唱団としての意識ができました。

8月1日、バスで島根県へと出発しました。バスの中ではとても楽しい時間を過ごすことができました。島根の地に着いても、あまり緊張することなく、みんなと練習をしたこと覚えてています。開会式に出席し、全国の高

等学校の合唱部と触れ合って、全国のレベルの高さを知り、大変良い刺激になりました。

8月2日の本番の日を迎えて今まで緊張しなかった私も発表が近づいてくるにつれて徐々に緊張してきました。しかし、いざ舞台の上に立つと今までやったことを思い出し、とても楽しく歌うことができました。ただ、同時に全国高校総合文化祭がもう終わってしまうんだと思うと悲しい気持ちも感じていました。

当日は、台風が山口県へせまっているということで、出番が終わったらすぐ帰ることになり、閉会式に出られなかったのが残念でした。日ごろの生活では体験することのできないことを体験させていただき、さらに合唱を通じて、新しい友人ができたなど、全国高校総合文化祭に参加させていただいたことを感謝しております。本当にありがとうございました。



▲山口県合同合唱団

## 吹奏楽部門

会場：出雲市民会館

### 岩国工業高等学校

吹奏楽部部長 小川 翔平

平成19年8月1日（水）～2日（木）の2日間、「悠久の地より吹く新しい風—島根2007—」をテーマに島根県出雲市民会館で吹奏楽部門の発表会が開催され、私達岩国工業高校は山口県代表として出演しました。

今年から小編成の吹奏楽部も県代表として出演できることになり、私達は演奏者16名で参加しました。それに対し他県の高校は、50名、多い所は100名を超える大編成だったので、私達は会場に入ってずっと緊張していました。

岩国工業高校は、2日目12番目の出演でした。会場には1日目の午後到着し、まず他校の演奏を聴いた後、同会場での「交流会」に参加しました。そして、地元の高校生の進行によるゲームなどに参加するうち、緊張感も和らいできました。他校の高校生とふれあうこともできて、とても楽しい時間をすごせました。この交流会のおかげで、会場に慣れることができ、翌日リラックスして楽しく演奏をするための心の準備ができました。

本番で演奏した曲は、C.Mシェーンベルグ作

曲／J.デ＝メイ編曲「ミス・サイゴン」とG.ビゼー作曲「アルルの女 ファランドール」でした。後者は岩井直溥氏による岩国工業高校独自の編曲版です。この2曲を小編成用にアレンジして演奏しました。聞いて下さった方々は、「少人数なのに力があり、アレンジも良かった」と言って下さり、とても嬉しく思いました。

本番後は再び他校の演奏を聞きました。どの高校も演奏に工夫がなされていて、いろいろなパフォーマンスがあり、とても勉強になりました。

この文化祭に出場するにあたり、推薦して下さった山口県吹奏楽連盟を始め、御指導下さった諸先生方、保護者・OBの皆様、地域の方々、その他多くの皆様には大変感謝しております。コンクールの小編成部門は中国大会までですが、今回、全国高校総合文化祭で演奏でき、また各県代表の演奏を生で鑑賞でき、貴重な体験ができました。この経験を今後に生かしながら日々の練習を頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。



▲岩国工業高等学校

## マーチングバンド・バトン・ワーリング部門

会場：島根県立浜山体育館

### 全総文（島根県大会）を終えて

誠英高等学校

3年 山下 実可子

私達にとって全総文は、初めて手にした大きな大会でした。3年になり出場できることを知り、部員一同大喜びしました。

その日から、大きな目標に向かい全員が一つになって猛練習に励みました。離れた2校の合同チームで難しい点もありましたが、合同練習を繰り返し、当日に臨みました。

パレードでは、次年度開催地、群馬県の、総勢120名を率いる大マーチングバンドの華やかな演奏のもと、市民の大きな声援もあり、

堂々と風を切ってすがすがしく演技できました。

バトンでは、ただ1人の男子部員とともに立派に演技することができ、退場と同時に「やった」と涙しながら部員全員が達成感を味わうことができました。

さらに、心に残る出来事がありました。視察にこられた秋篠宮様・紀子様・眞子様のお見送りができたことです。賜ったお言葉や握手していただいた手のぬくもりが今でも思い出されます。

神の国に集い、流した汗は一生の宝物になりました。



▲山口県合同チーム

## 日本音楽部門

会場：雲南省三刀屋文化体育館

理事長 藤井美枝  
(山口県鴻城高等学校教諭)

『悠久の地より吹く新しい風』の大会テーマのもと、第31回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会が、8月1日、2日の2日間、島根県雲南省三刀屋町の文化体育館アスパルで、開催されました。

本校からは6名参加の予定でしたが、当日前、体調不良のため急遽欠席者が1名出て、5名の参加となりました。

大会は、初日が33校、2日目が24校の総数57校の参加という盛大なものでした。山口県からは、日本音楽の部門は推薦校という形をとっていますので、本校が推薦を受けて出場をしました。毎年のことながら、全国大会は非常に高いレベルでした。上位4校は、国立劇場で東京公演に出場できるとあって、熱の入れ方も大変なものでした。

各県、各地、各校で、日本音楽との関わり方はそれぞれあります。本校は、後ほど送付されてきた講評にもありましたように、「一生懸命練習した様子が伝わってきました」「まだまだこれからですが、楽しく・・・いろんな曲にトライして下さい」といったスタンスです。クラブ活動としての日本音楽との取り組み、生徒にとって新しい体験の付加、といったものを増やせていけたらと思います。



生徒達が、未知の世界へ挑戦したことは、何ものにも代え難いよい経験となりました。講師の国吉先生、生徒達へ感謝をしつつ、引率を無事終えることができました。また、高文連をはじめ関係の先生方にも大変お世話になりました。お礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 美術・工芸部門

会場：島根県立美術館

理事長 宮崎龍次  
(下関商業高等学校教諭)

今回、全国総文祭島根大会に参加した6組のみなさんから、感想をいただいています。それぞれの心に響いた感動をお届けします。

### 出品作品「探しもの」絵画

光高等学校

3年 宮本 美貴

「すごい……。本当に高校生の作品なの」と思ったあの時の驚きは今でも忘れられません。どれも素晴らしい作品ばかりでした。今回、全国総文祭へ行き、全国の高校生が制作した作品を見たことは、とてもよい経験、刺激になったと思います。多くの作品との出会いに本当に感謝します。



### 出品作品「リハーサル」絵画

防府高等学校

2年 足立 陽子

50号のキャンバスに初めて挑んだ作品であった。人物をどこに配置すればよいのか、空気の流れをどう造るか、統一感のある色調は…。沢山の課題に挑戦の連続だっただけに思い出深い作品となった。

全国から集まった絵は皆自分なりの課題に挑戦した結晶である。それぞれから強いエネルギーが発せられていた。大きな感動を味わった。



### 出品作品「溶けていくもの」立体

山口高等学校

2年 岡 聖・齋藤友美子

私達の作品は1メートルを超える立体であったにもかかわらず、実際に会場で見てみると大変小さく見えました。周りの作品のレベルの高さや迫力は、大きさに関係なく私を圧倒し、多くの驚きと感動を与えてくれました。この度の島根大会で学んだ事を、これから活動に役立てていけるよう、精一杯頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。



### 出品作品「私がいる」絵画

西京高等学校

3年 新谷 希

行ってきました、島根。しじみも美味しかったですが、絵もすごかったです。会場を3周は回りました。同じ高校生が描いているので親近感があり、プロの作品を見るよりも感銘を受けました。全体的に緻密な絵が多く、自分の絵がいかに大難把だったかを知りました。次の作品を描くにあたっての課題を見つけることができました。

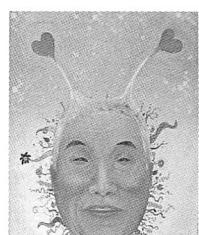


### 出品作品「ハニートースト」絵画

下関南高等学校

3年 西田 早織

総文祭に行って気づいたことは伝わる絵は少なかったことだ。絵の技術レベルも必要であるが伝えたい思いが見る人に明確に伝わることの方が大事だと思う。私も人のことは言えない。描いているうちにただ自分の描きたいものを描くだけになってしまい自己満足に終わる絵となってしまったと思う。総文祭に参加することでそういう気持ちになれたのでよい経験となった。



### 出品作品「Ground」絵画

萩商工高等学校

3年 金子由香里

個性あふれる作品ばかりで、全国の舞台はとてもレベルが高いなと思いました。色彩も豊かで表現が自由な、高校生の今だからこそ作りあげることのできる、そんな世界の作品が多かった様に思います。絵で自分の個性を出せるることはすばらしいと改めて感じた全国総文でした。

これからも芸術の分野を活気づけていってほしいと思います。



## 書道部門

会場：島根県立武道館

理事長 有富由美  
(山口高等学校教諭)

書道部門は全国展を柱に、交流会、講評会が行われました。交流会は、グループごとに木彫の表札を作成しました。講評会は、全高書研理事長の中村好男先生を講師に招いて行されました。数点の作品をピックアップし、その作品について様々な角度から丁寧に分析されました。山口県では長府高校の植村さんの作品について講評され、作品の鑑賞眼を高める貴重な時間となりました。全国展には山口県よりこの4作品を出品しました。それぞれの作者の感想とともにここに紹介します。

防府高等学校 植田 隆博

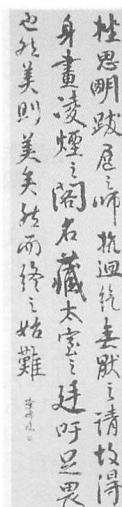
### 『臨 爭坐位稿』

今回、全総文祭に参加し、大変貴重な経験ができました。会場で全国の高校生の作品を見て、そのレベルの高さに驚き、そして圧倒されました。交流会では他県から参加していた人達と知り合うことができました。全総文祭で経験したことは僕にとって決して忘ることのできないものとなりました。そしてこの経験を生かし、これからも書道に励んでいこうと思います。

長府高等学校 植村 安紀

### 『臨 九成宮醴泉銘』

全総文祭に参加して得たものは大きく、貴重な経験をすることができました。そして、多くのレベルの高い作品を見て圧倒され、大いに刺激を受けました。どれも同じ高校生が書いたと思えないほどの力作で、それぞれが全く違う表情をしていて、驚きと感動の連続でした。交流会では表札作りをして、他県の高校生とも仲良くなれて楽しい時間を過ごせました。今回の経験を今後に生かしていきたいです。



本之水源求而無之在乎一物既非人  
此所謂至人無為大聖不作彼竭其力我享  
其功者也然昔之池沼成利谷澗宮城之内



下関南高等学校 梶谷 真未

### 『花風月雪』

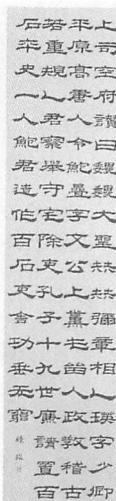
初めて行った松江市は、私の住む下関市よりもんびりしていました。全総文祭の内容は充実していて、同じテーブルについた他の県からの代表者と一緒に表札を彫りました。皆が特徴のある字体で上手に仕上げているのを見て、少なからず刺激をもらったのは良いことでした。今回参加して、視野がとても広くなったと感じています。頑張っているのが自分だけではないと実感したことを忘れず、今後も努力します。



下関中等教育学校 堀江 瞳

### 『臨 乙瑛碑』

今年、全総文祭に参加し、沢山のことを学ぶことができました。会場で300点以上の全国からの作品に出会い、その迫力と完成度の高さに圧倒されました。それぞれの作品は、とても素晴らしい印象深いものばかりでした。また、交流会や講評会に参加し、多くの人々とふれあうこともできました。全国大会は、私にとって貴重な経験となりました。この経験を、今後の自分に生かしていきたいと思います。



## 写真部門

会場：松江市総合体育館

### 島根大会写真部門に参加して

新南陽高等学校  
3年 藤田 咲

私にとって島根を訪れるのは初めての経験で、前日までは楽しみで仕方ありませんでした。

分科会会場の松江市総合体育館に着くと、周りには全国から集まった各校の写真部員でいっぱいでした。どの人も自分のカメラを大事そうに抱え、周りの人と楽しそうに話をしていました。私と同じように写真が大好きで、写真に対する熱意を抱いている人がたくさんいることに感動しました。また、全国からの出品作品はどれも個性的で、レベルの高いものばかりでした。

1日目の講演会で講師の森山大道さんの言葉で最も印象に残った言葉は、「いつも見慣れている景色、普段何気なく歩いている道にも、素敵な被写体がある。」というものでした。つい珍しいものばかりを撮ろうとしていた私は、いつもの風景をより自分らしく表現する大切さを学ぶことができました。

自分自身で素敵な被写体を見つけ出すことも写真を撮る上で大切なことですが、良い写真を撮ることは自分一人の力だけではできないという事も感じました。今大会の撮影会で、優秀賞という素晴らしい賞を戴けたのは、顧問の先生や部活の仲間の協力や励ましがあっての結果だと思います。たくさんのことを学ばせ、成長させてくれた先生と友達にとても感謝しています。

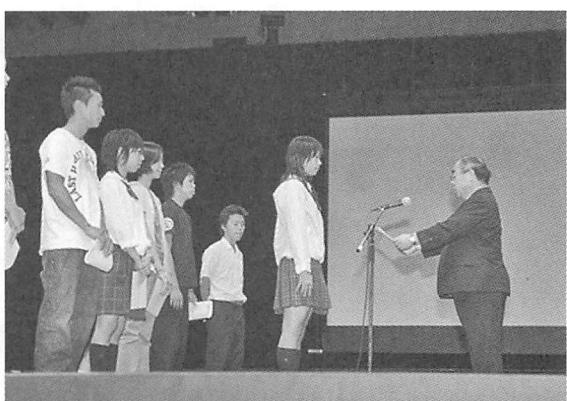
さらに、写真の審査をしてくださった有澤一則さん、後藤正治さん、岡敏文さんからの評価も、これから自分がもっと向上していくためのとても貴重なご意見でした。一口に写真を撮るといっても、空間の使い方、光の当

たり具合、人物や風景の写り方など、ひとつひとつに注意をしなければなりません。自分の作品を作り上げていくのに、周りの建物や植物などを利用することは、なんて楽しいことなのだろうと、心がわくわくしました。

私は写真を撮ることと同じくらい絵を描くことが大好きです。これから写真を撮っていく時も、白いキャンバスに色を塗っていくように、素敵な被写体を写していきたいと思いました。

今回、全国高等学校総合文化祭で島根を訪れたことは、私にとっても、写真部にとっても貴重な体験となりました。高いレベルの写真を見ることで良い刺激になり、写真にも更に興味が湧きました。今回受けた刺激を今後の撮影活動にも生かしていけたら良いと思います。そして、島根で見た美しい風景や建造物、温かい人々のことを忘れないでいたいです。また、私たち3年生は、今回が最後の総文祭でしたが、今回学んだことを2年生へと伝えて、今後の作品作りに役立ててもらいたいと思います。

とても貴重な体験ができて良かったです。



## 囲碁部門

会場：フローラいずも

徳山高等学校  
3年 木村 悠

久しぶりの大型台風が九州南を北上し、山口、島根県への接近が心配される中、8月1日(水)から2日(木)にかけて出雲市の「フロー  
ライズも」で開催された第31回全国総合文化  
祭の囲碁部門に山口県の団体のメンバーとし  
て山口高校の波多野貴紀君、宇部高校の三井  
聰子さんとともに出場しました。前年の中国  
大会と同じ会場であったこともあり、落ち着  
いた雰囲気で対局することができました。過去  
2年間の個人戦での出場とは違い、3人そ

れぞれが力を合わせて勝利を目指すという今  
まで経験したことのない緊張感を体験するこ  
とができました。個人としての結果は3勝3  
敗、団体としての成績も3勝3敗で全国29位  
でしたが、この大会への出場により他県の高  
校生と交流することができ、友情の輪が一層  
広がり良い経験になりました。僕は、これから  
大学進学を目指しますが、この大会で得た  
思い出や友情を大切にしてこれからも頑張っ  
ていこうと思います。最後に、これまで囲碁  
を通じてお世話になった多くの人たちに感謝  
し、全国大会の報告とします。



## 放送部門

会場：島根県立産業交流会館

理事長 吉川佳子  
(山口高等学校教諭)

放送部門は8月1日（水）2日（木）の2日間にわたって松江市のくにびきメッセ（島根県立産業交流会館）で開催されました。松江市といえば宍道湖で有名です。宍道湖に沈む夕日を眺めることのできる美術館や、松江城、小泉八雲の旧居があります。松江城は戦争で焼けていない本物の（？）お城です。松江は城下町の名残そのままの情緒あふれる町でした。

1日はアナウンス部門です。今回は島根県での開催であるため、郷土の伝説、民話、神話に関する話題がテーマで、徳山高校の藤本美智子さんは「ふぬけ男ー彦兵衛ー」、同じく徳山高校の神出江美さんは「三作神楽」、岩国高校の二宮由佳里さんは「岩国の南条踊り」についてのアナウンスをしました。

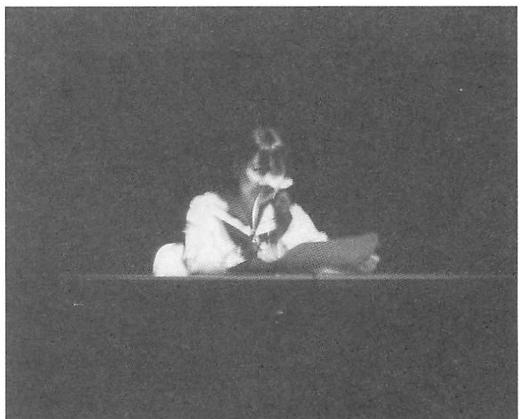
2日は朗読部門は従来通りで郷土にゆかりの作品か郷土にゆかりの作家の作品を選んでの朗読です。熊毛南高校の安達亜美さんは防府市出身の作家高樹のぶ子の「光抱く友よ」、岩国総合高校の米田光里さんは山口高校出身の作家重松清の「ビフォア・ラン」、山口高校の岡村奈美さんは高樹のぶ子の「マイマイ新子」の朗読をしました。

山口県の番組の発表は2日で、オーディオ

ピクチャー部門は岩国総合高校の「おさん狐はいま…」ビデオメッセージ部門は徳山高校の「三作神楽」でした。

1日のアナウンス部門の発表が終った後に山口県の参加校のみんなで松江の城下町を歩いておいしいジェラートをいただきました。それぞれチョイスしたフレーバーを味わいながらにぎやかな交流をしました。

結果はアナウンス部門の徳山高校の藤本美智子さんが優秀賞を受賞、同じくアナウンス部門で徳山高校の神出江美さんが審査員特別賞を受賞し、昨年に引き続き、山口県は全国大会入賞を果たしました。



# 将棋部門

会場：島根厚生年金会館

理事長 岡 茂樹  
(防府高等学校教諭)

第31回全国高等学校総合文化祭将棋部門兼第43回全国高等学校将棋選手権大会が、7月29~30日に、島根県出雲市で開催されました。出雲大社で必勝祈願をし、日御碕灯台で日本海に健闘を誓い、出雲そばで腹ごしらえをして対局に臨みました。地元出身の女流プロ里見香奈初段と記念写真を撮って、パワー十分で対局を開始しました。

予選はスイス式の4回戦。上位に入れば決勝トーナメント進出です。男子団体の宇部工業高校は、力を発揮できず苦戦。1勝3敗で予選敗退。2月の全国新人大会では予選突破の男子個人の熊谷君も、女子個人の足立さんも残念ながら予選敗退でした。伊原さんは3勝1敗で予選通過の可能性があったのですが、惜しくも届きませんでした。男子の今年の県勢は力不足でしたが、女子の2人は二年ということもあり、来年が期待できそうな棋力の高さでした。

〈男子団体〉 宇部工業高等学校

《野村一幾・小川将弘・住友泰輔》

一回戦 横浜高校(神奈川県) 負(0勝3敗)



二回戦 都留高校(山梨県) 負(1勝2敗)  
三回戦 金沢泉丘高校(石川県) 負(1勝2敗)  
四回戦 北谷高校(沖縄県) 勝(3勝0敗)

1勝3敗 予選敗退

〈男子個人〉

《熊谷安剛(岩国工業高等学校)》

一回戦 岩間 正(長良高) …勝  
二回戦 榎木 幸平(宮崎商業高) …負  
三回戦 橋本 貴弘(秋田高) …勝  
四回戦 山田 祥五(泊陵高) …負

2勝2敗 予選敗退 25位

〈女子個人〉

《伊原 綾菜(防府高等学校)》

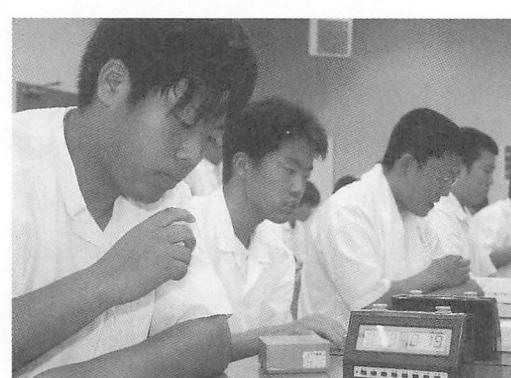
一回戦 中村 漣(追手前高) …勝  
二回戦 村田史於里(伊勢高) …負  
三回戦 中村 友香(大野高) …勝  
四回戦 三澤満利子(山梨高) …勝

3勝1敗 予選敗退 23位

《足立陽子(防府高等学校)》

一回戦 市原百合絵(熊本北高) …勝  
二回戦 上山 杏子(宮崎第一高) …負  
三・四回戦 欠場(美術部門参加)

1勝1敗 予選敗退 68位



## 文芸部門

会場：大社文化プレイス

### 全国高等学校総合文化祭 (島根大会)に参加して

徳山高等学校

3年 小池 福美

私は今夏、高等学校総合文化祭文芸部門に参加するため、島根県の出雲市に行きました。初めての島根でしたが、印象といえばそう、島根は間違いなく神がいらっしゃいます。十月に神有月となる島根ですからまず確実です。いますよ、神。

さて私は総文で、文芸誌部門に参加しました。グループに分かれて、3時間以内で文芸誌を作るなどをやりましたが、そのことについて詳しく書くよりも、もっと面白そうなことを書きたいと思います。グループには地元島根や、遠くは東北秋田まで。愛知の高校生の万博に遠足で行ったという話に力いっぱいいうらやましがり、秋田の人はきりたんぽとなまはげについて語りました。同時に山口県民は、人が言うほど河豚は食べられないと釘を刺しておきました。そして今回1番印象に残ったのは、文芸春秋の元編集長の方の「貴方たちは将来、小説家や編集者にならなくてもよい。しかし文芸は人の心を豊かにするものだと忘れないでほしい。」という言葉です。私はそのとき、尊敬する文芸部の先輩や、可愛い後輩、信用できる同級生のことが思い出され、そして厳肅な島根の地と、新しく出会った人たちの事をさらに真摯に考えました。ああなるほど、私はこの言葉を聞きに島根に来たのです。私は確かに文芸とは関係ない道を志しているけど、心豊かにする文芸に触れ、良い人たちと出会い、かけがえのない3年間を送ることが出来たと、気づけたのですから。



下関南高等学校

2年 萩原 祐見子

島根県の総文では、本当にたくさんのこと学ぶことが出来ました。

私は時間の関係で1日目の途中から参加したので開会式と全体交流会を見られなかつたのが残念ですが、初日の主なイベントである文学散歩にはなんとか間に合い、13:00~17:30まで短いスケジュールでしたが名所を巡って風景や歴史を味わうことが出来ました。

文学散歩では文芸部門の参加者がそれぞれバスの1・3号車に文芸誌部門と視察者、2号車には散文部門参加者、4・5号車には詩・短歌部門参加者、6・7号車は俳句部門参加者と視察者という風に分かれ各部門で松江城、小泉八雲記念館、武家屋敷、日御碕灯台、出雲大社、歴史博物館等を各部門別に訪れました。

私は俳句部門に参加して日御碕灯台と出雲大社に行ってきました。時間がなく物足りなさを感じました。見学はその他いろいろしましたが、それを見て俳句を作ることに時間をとられ、あまりじっくりと見学が出来なかったのが残念です。

当日はとても天気がよく、快晴のため夏の風景を句にするのに調度よく、バスの車内でも島根県の高校総文生徒実行委員方が親切に案内してくださったので、出雲の良いところを充分に体験することが出来ました。



# 山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧 (1)

番号	学校\事業	ピアノ	マリンバ	フルート	胡弓	打楽器	尺八と琴	交響樂団	演劇	金管合奏	ソプラノ	電子オルガン	リコーダー・リュート
1	周防大島・安下庄	63					7		4,10				
2	久賀	63						3	10				
3	岩国										1		
4	岩国総合							11			1		
5	岩国商業			3						62,15			
6	岩国工業							2		6,8			
7	坂上			63	11			5		3			
8	広瀬	14	63					17		※			
9	高森							2					
10	柳井							7		11			
11	柳井商工								11,14	14,11,14			
12	熊毛南	63						6,17		12			分19
13	田布施農業						分15	3,18		5			分18
14	田布施工業							※		16			
15	光	63						8		17	定※		
16	光丘							8,11		14			
17	熊毛北							2,14		63,7			
18	下松	63				12	7	15					
19	華陵	63						8		1			
20	下松工業							1					
21	徳山		定4			定10	定8	15		12			
22	徳山北		63					4,11		8			
23	徳山商工		5	63					3,4,7		1		
24	鹿野	3			10			9		1,16			
25	新南陽	63							5,14				
26	南陽工業		1					62					
27	佐波			63			7						
28	防府												
29	防府西							10		1			
30	防府商業		定63					12	6	1			
31	山口		定62定16				定15	2					
32	山口中央	63	12			10	13						
33	西京	62						4		7			
34	山口農業							5		3			
35	宇部	63											
36	宇部中央		定1				定14	10,19		63			
37	宇部西								14		10		
38	宇部商業			63				62,6		3			
39	宇部工業		13	2				8					
40	小野田		定63	定19									
41	小野田工業		定63						4				
42	厚狭			1				15		9,18			
43	美祢	62				9		4	2		18		
44	大嶺		4							63,13,17※			
45	青嶺・美祢工業							63	10				

ピアノ…………弘中孝  
マリンバ…………水野与旨久  
フルート…………西田直孝トリオ  
トランペット…………田宮堅二  
胡弓…………姜建華・楊宝元

尺八と琴…………中村明一、八木美知依  
オペレッタ…………木月京子ひとりオペラ  
交響樂団…………山口県交響樂團  
演劇…………のんた・宇部芸術座・海峡座  
金管合奏…………東京金管五重奏団

打樂器…………韓国の太鼓と踊り  
デュオコンサート…………三輪郁・菅沼ゆづき  
ソプラノ…………鶴木絵里  
リコーダー・リュート…………吉沢実・永田平八  
電子オルガン…………神田将  
みんなdeリズム…………フラシス・シリヴォ

## 山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧 (2)

番号	学校\事業	ピアノ	マリンバ	フルート デュオコンサート	胡弓	打楽器	尺八	ハーモニカ	交響楽団	演劇	金管合奏	ソプラノ 電子オルガン	リコーダー
46	田 部							1,13		18※			
47	西 市							63					
48	豊 浦												
49	長 府										1		
50	下 関 西												
51	下 関 南												
52	下関中等教育									5			
53	下関中央工業								12	6			
54	下 関 工 業	62								2			
55	響		5						1				
56	豊 北	62							3	15			
57	日 置 農 業	63	5		15	9	19		2,13				
58	大 津	63						12	5				
59	水 産							12					
60	萩	63						3	6				
61	萩 商 工	63						6,7,16	2,4,9,12,17				
62	徳 佐			分63				63,10※	13				
63	奈 古		分17		11			1,9					
64	下関南総合支援	63	3		16	8,10	7	1					
65	山口南総合支援												
66	岩国総合支援		3,13		16				10,19				
67	田布施総合支援		6	17				62					
68	徳山総合支援		11	1									
69	周南総合支援		15	17							※		
70	防府総合支援	62	3	63	12			16					
71	山口総合支援			19				14					
72	宇部総合支援		63,5,14					1,9	18				
73	下関総合支援		2,6					16					
74	豊浦総合支援		11,16				13		19				
75	萩総合支援		6										
76	下 関 商 業				定14								
77	高 水								62				
78	柳井学園		6						63				
79	聖 光							2					
80	山口県桜ヶ丘												
81	誠 英								7,9				
82	高川学園												
83	中村女子	63						2,5	11,16				
84	野田学園	63						18					
85	山口県鴻城							10	12,15				
86	宇部鴻城							7	9				
87	慶 進												
88	成 進												
89	宇都フロンティア大学付属音楽							1,5,15	11,19				
90	サ ビ エ ル												
91	早 鞠												
92	下関短期大学付属	62,63	4				7		8				
93	長 門								6				
94	萩光塩学院												

(注) <62~平19……実施年度><※印……平成20年度実施予定>

## 《自主事業》～リコーダーとともに～

熊毛南高校上関分校

2年 神谷 歩佳

☆ 今日はいろいろな音色が聴けてすごく感動しました。私はリコーダーの種類があんなにたくさんあることを知ってとてもびっくりしました。石の笛や角の笛やパイプの笛などどれもとても個性的で聴く人を飽きさせない魅



力のある音色ばかりでした。

リュートは初めて見る楽器でとてもおもしろい形をしてて、音色も優しい感じで聴いててすごく癒されるかんじでした。こんなすばらしいものを聴けて本当に良かったです。

2年 浜田 翼

☆ リコーダーをあんなに上手く吹ける人を初めて見ました。リコーダーにあんなに種類があるのにはとても驚きました。音もとてもきれいで僕が吹いたらいつもメチャメチャな音で、とても尊敬しました。リュートはとてもきれいな音色で、ギターとはまた違った雰囲気をかもし出していました。僕はリュートのほうが好きです。とてもいやされます。このようなところで演奏していただきありがとうございました。

## 《自主事業》～三輪郁・三輪愛デュオコンサート～

音楽世界旅行 2007

小野田高校定時制

3年 板垣 良子

☆ すごく迫力がありました。同じ出だしで二人の息がピタッと合って演奏なさっているのを聞いて、本当にすごいなぁと思いました。合間合間のお話も、すごく楽しかったです。

こういう音楽に触れる機会は、めったにないので、今日は演奏会に出席して、本当によかったと思います。お二人は東京からいらっしゃったそうで、今日は蒸し暑い中、本当にお疲れさまでした。そして、本当にありがとうございます。これからもがんばって下さい。

芸術鑑賞会を終えて

山口養護学校

高等部 片山 清美

☆ この度は、遠い所から山口養護学校に来てくださいり、本当にありがとうございました。

演奏してくださった曲の中には、以前に聴いたことがあるものがありました。CDで聴くのと実際に目の前で聴くのとは、大きな違いがありました。とてもきれいな音に、悩み

もどこかに行ってしまい、とても楽しい気持ちになりました。僕は、オーケストラなどを聴いたこともあります、今日のように説明を聞きながら聴くほうがわかりやすくて、授業で習うよりも良かったです。

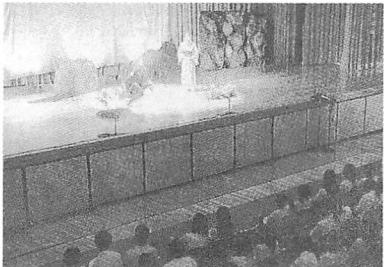
三輪さんが、「好きなことに打ち込む」とおっしゃったことが、とても印象に残りました。僕は、来年の4月から社会人になります。仕事の休みを利用したりなどして、好きなことに打ち込んで行きたいと思います。

これからも、お身体に気をつけられて頑張ってください。



## 《自主事業》【巡回演劇公演】

宇部芸術座・公演「べっかんこ鬼」



宇部フロンティア大付属香川高校

劇団海峡座・公演「銀河・ジョバンニの旅」



豊浦養護学校

劇団のんた・公演「あらしのよるに」

10月14日実施

岩国養護学校

## 《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

宇部中央高校

2年 谷村 智美

☆ 初めて生のオーケストラの演奏を聞き、しかも指揮者の体験をすることができ、とても有意義な時間でした。指揮を振ることが初めてなのできちんとできるか、とても不安で、また緊張しました。しかし、指揮を振り始めてからは、だんだんとその不安や緊張感が消え、楽しさへとかわっていきました。曲の終わり方の指揮がよく分からなくて、うまくできなかつたことが少し心残りでした。体験を通して、指揮者はたくさんのパートがあるなかで、それらをまとめるのにとても欠かせない大事な役割だと改めて思いました。また、同じ曲でも指揮者が違うと、その曲の雰囲気も違うように聞こえました。歌劇「カルメン」前奏曲はこれから先決して忘れることのない曲になったと思います。「プリンク・プリンク・プランク」のコントラバスの弾き方にはとても驚きました。弾き方を覚えることでい

ろいろな音色を出すことができるコントラバスがとても魅力的でした。楽器の特徴などをどう生かして演奏するかということも大切だと分かりました。

本当に、貴重な体験をさせてくれたり、素敵な音楽を聞かさせてくれた山口県交響楽団のみなさんや、このような行事を主催してくれた先生方に感謝しています。



## 平成19年度 山口県高等学校文化連盟【事業報告】

月	日	事 業	会 場
4	12 17	会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	11 22 26~27	高文連評議員会 (社)全国高等学校文化連盟第1回通常総会 県高校総合文化祭(将棋部門)	山口市 東京: ホテルフロラシオン青山 防府市文化福祉会館
6	14 14 15~16 16 20 21 21 29	平成18年度集録「高文連」発行 平成18年度「高文連会報」発行 A.アンリ、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート(補助公演) 県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭音楽4部門発表会 県高校総合文化祭(日本音楽・吟詠剣詩舞部門) A.アンリ、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート(補助公演) A.アンリ、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート(補助公演) リコーダーとともに	新南陽高校 宇部市渡辺翁記念会館 宇部市渡辺翁記念会館 山口南総合センター 柳井高校 下関工業高校 下関西高校 熊毛南高校上関分校
7	6 12 13 28~2 29~2 30	第17回中国地区高文連関係者合同会議 巡回演劇「劇団海峡座」 巡回演劇「宇部芸術座」 (社)全国高等学校文化連盟各専門部会 第31回全国高等学校総合文化祭 (社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	広島市 豊浦養護学校 宇部フロンティア大学附属香川高校 島根県 島根県 島根県松江市
8	25~26	第18回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京: 国立劇場
9			
10	1 2 14 27~28 28	三輪 郁・三輪 愛デュオコンサート 三輪 郁・三輪 愛デュオコンサート 巡回演劇「劇団のんた」 県高校総合文化祭(演劇部門) 県高校総合文化祭(囲碁部門)	小野田高校定時制 山口養護学校 岩国養護学校 周南市新南陽ふれあいセンター 徳山商工高校
11	3 5 5 16~18 17 20 22~24 26	県高校総合文化祭(放送部門) 山口県交響楽団演奏会 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭展示部門(美術・工芸、書道、写真) 県高校総合文化祭(文芸)兼第9回高校生文芸道場中国ブロック大会 第1回高文連理事長会 第45回中国地区高等学校演劇発表会 県行政監査	ニューメディアプラザ山口 日置農業高校 宇部中央高校 ときわ湖水ホール 周南市新南陽ふれあいセンター 山口中央高校 山口市情報芸術センター 山口中央高校
12	13 14 22	第19回全国高文連研究大会 全国高文連第2回通常総会 実務担当者会議 第9回高校生文芸道場総合大会	仙台市 仙台市 東京都
1	24~26	第16回全国高文連将棋新人大会	秋田県仙北市田沢湖
2	4 20	第2回高文連理事会 第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
3	14 27	平成19年度中国地区高文連実務担当者会議 第27回器楽・管弦楽スプリングコンサート	広島市 山口市民会館

【その他】県高校総合文化祭準備(実行)委員会

総合開会式・音楽4部門発表会(宇部高校)  
展示3部門(宇部中央高校)  
日本音楽、吟詠剣詩舞部門(山口県鴻城高校)  
演劇部門(華陵高校)  
囲碁部門(徳山商工高校)  
放送部門(山口高校)  
将棋部門(防府高校)  
文芸部門(徳山高校)  
※以上、主管校を中心に開催

各専門部会………部会長校を中心開催  
各専門部研修会…県下各地において開催

# 平成19年度 山口県高等学校文化連盟会計【決算書】

(収入の部)

(単位：円)

区分	予算額	決算額	増減(減△)	摘要
繰越金	4,461,301	4,461,301	0	
会費	13,575,250	13,074,950	△ 500,300	
(内訳)	13,399,050 66,000 110,200	12,903,800 63,250 107,900	△ 495,250 △ 2,750 △ 2,300	全日制 350円×36,868人 定時制・特別支援学校 50円×1,265人 学校負担金 100円×1,079学級
補助金	2,860,000	2,760,000	△ 100,000	
(内訳)	954,000 100,000 1,806,000	954,000 0 1,806,000	0 △ 100,000 0	県総文祭県補助金 宇都市補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	0	0	0	
雑収入	3,449	20,512	17,063	定期利息
合計	20,900,000	20,316,763	△ 583,237	

(支出の部)

区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要
運営費	1,147,600	970,724	176,876	
(内訳)	事務用品費 通信費 分担金	220,000 400,000 527,600	153,106 285,018 532,600	66,894 114,982 △ 5,000 事務用品、写真、事務機器維持 電話、郵便、運送料等、傷害保険料 全国高文連・山口県文連会費、賛助会費 中国地区分担金
会議費	1,325,000	1,104,898	220,102	全国会議60万、研究大会16万、県内会議34万
事業費	17,124,000	15,009,476	2,114,524	
(内訳)	県総文祭 全総文祭 自主事業 大会補助金 専門部会費 印刷費	7,470,000 4,340,000 2,268,000 450,000 1,836,000 760,000	6,976,207 3,059,411 2,268,000 250,000 1,731,883 723,975	493,793 1,280,589 0 200,000 104,117 36,025 総合開会式、各部門大会開催費 生徒旅費192万、引率旅費96万、運送費18万 8公演、助成事業4公演 特別支援学校文化祭、文芸中国大会 研修費、各部門通信費、全国高文連分担金 高文連集録、会報、県総文ポスター、賞状
調整基金	0	0	0	
予備費	1,303,400	50,000	1,253,400	音楽4部門招待演奏出演料他
合計	20,900,000	17,135,098	3,764,902	

(収入) 20,316,763 - (支出) 17,135,098 = (繰越) 3,181,665

## 平成19年度 調整基金会計決算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計へ繰り出し	今年度末残高
12,000,000	0	12,000,000

上記の通り相違ありません  
平成20年4月10日

監事

監事

山 李 信 夫  
豊 国 芳 和



## 平成20年度 山口県高等学校文化連盟【事業計画】

月	日	事 業	会 場
4	10	会計監査	山口中央高校
	21	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
	30	マルグリット・フランス、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート（補助事業）	徳山北高校
5	9	高文連評議員会	山口市
	27 24~25	(社)全国高等学校文化連盟第1回通常総会 県高校総合文化祭（将棋部門）	東京：ホテルフロラシオン青山 防府市文化福祉会館
6	9	平成19年度集録「高文連」発行	
	12	平成19年度「高文連会報」発行	
	13~14	巡回演劇「劇団のんた」	広瀬高校
	14	県高校総合文化祭総合開会式	下関市民会館
	18	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	下関市民会館
7	14	県高校総合文化祭（日本音楽・吟詠剣詩舞部門）	美祢市民会館
	18	神田 将 電子オルガンコンサート	周南総合支援学校
	9	第18回中国地区高文連関係者合同会議	広島市
	10	藤田卓也テノールコンサート（補助事業）	豊浦総合支援学校
8	15	山口県交響楽団演奏会	徳佐高校
	25	藤田卓也テノールコンサート（補助事業）	下関工業高校
	30~31	(社)全国高等学校文化連盟各専門部会	群馬県
	7	第32回全国高等学校総合文化祭	群馬県
9	30~31	(社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	群馬県
	18	第19回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場
	18	巡回演劇「宇部芸術座」	大嶺高校
	25	藤田卓也テノールコンサート（補助事業）	熊毛南高校
10	25	県高校総合文化祭（文芸部門）	周南市市民会館
	26	県高校総合文化祭（演劇部門）	下関市民会館
	26	県高校総合文化祭（囲碁部門）	山口高校
	7~9	県高校総合文化祭展示3部門（美術・工芸、書道、写真）	下関市立美術館
11	8	県高校総合文化祭（放送部門）	ニューメディアプラザ山口
	8	巡回演劇「海峡座」	田部高校
	15	第10回高校生文芸道場中国ブロック大会	鳥取県立図書館・とりぎん文化会館
	18	フランシス・シリヴァとみんなdeリズム	光高校（定時制）
	21	第1回高文連理事長会	山口中央高校
	21	山口県交響楽団演奏会	田布施工業高校
	11	第20回全国高文連研究大会	奈良市
12	12	全国高文連第2回通常総会 実務担当者会議	奈良市
	10	第10回高校生文芸道場総合大会	
1	29~31	第17回全国高文連将棋新人大会	岐阜市
2		第2回高文連理事長会	山口中央高校
		第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3		平成20年度中国地区高文連実務担当者会議	広島市
	27	第28回器楽・管弦楽スプリングコンサート	防府市地域交流センタースピラート

【その他】県高校総合文化祭準備（実行）委員会  
 総合開会式・音楽4部門発表会（長府高校）  
 展示3部門（下関中等教育学校）  
 日本音楽、吟詠剣詩舞部門（大嶺高校）  
 演劇部門（下関中等教育学校）  
 囲碁部門（山口高校）  
 放送部門（山口高校）  
 将棋部門（徳山高校）  
 文芸部門（徳山商工高校）  
 ※以上、主管校を中心に開催予定

各専門部会………部会長校を中心開催予定  
 各専門部研修会…県下各地において開催予定

## 平成20年度 山口県高等学校文化連盟会計【予算書】

(収入の部)

(単位：円)

区分	予算額	前年度予算額	増減（減△）	摘要
繰越金	3,181,665	4,461,301	△ 1,279,636	
会費	13,087,000	13,575,250	△ 488,250	
(内訳)	12,915,000 64,000 108,000	13,399,050 66,000 110,200	△ 484,050 △ 2,000 △ 2,200	全日制 350円×36,900人 定時制・特別支援学校 50円×1,280円 学校負担金 100円×1,080学級
補助金	5,440,000	2,860,000	2,580,000	
(内訳)	954,000 0 4,486,000	954,000 100,000 1,806,000	0 △ 100,000 2,680,000	県総文祭県補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	1,500,000	0	1,500,000	
雑収入	21,335	3,449	17,886	定期利息
合計	23,230,000	20,900,000	2,330,000	

(支出の部)

区分	予算額	前年度予算額	増減（減△）	摘要
運営費	1,082,600	1,147,600	△ 65,000	
(内訳)				
事務用品費	200,000	220,000	△ 20,000	事務用品、写真、事務機器維持費
通信費	350,000	400,000	△ 50,000	電話、郵便、運送料等、傷害保険料
分担金	532,600	527,600	5,000	全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金、山口県文連会費
会議費	1,460,000	1,325,000	135,000	全国会議100万、研究大会11万、県内会議85万
事業費	20,255,000	17,124,000	3,131,000	
(内訳)				
県総文祭	7,680,000	7,470,000	210,000	総合開会式、各部門大会開催費（別紙）
全総文祭	8,060,000	4,340,000	3,720,000	生徒旅費440万、引率旅費278万、運送費88万
自主事業	2,094,000	2,268,000	△ 174,000	7公演、助成事業4公演
大会補助金	50,000	450,000	△ 400,000	特別支援学校文化祭
専門部会費	1,791,000	1,836,000	△ 45,000	研修費、通信費、各部門全国分担金
印刷費	580,000	760,000	△ 180,000	集録、会報、県総文ポスター
調整基金	0	0	0	
予備費	432,400	1,303,400	△ 871,000	
合計	23,230,000	20,900,000	2,330,000	

## 平成20年度 調整基金会計予算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計へ繰出し	今年度末残高
12,000,000	1,500,000	10,500,000

# 山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定  
平成元年4月1日改正  
平成2年4月1日改正  
平成3年4月1日改正  
平成4年4月1日改正  
平成6年4月1日改正  
平成8年4月1日改正  
平成9年4月1日改正  
平成15年4月1日改正  
平成16年4月1日改正  
平成18年4月1日改正  
平成20年4月1日改正

## 第 1 章 総 則

### (名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

### (事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

### (目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

### (事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

### (組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸の各部門とする。

## 第 2 章 役 員

### (役 員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| (1) 会長 1人                  | (5) 専門部会長 14人  |
| (2) 副会長 若干人                | (6) 専門部理事長 14人 |
| (3) 評議員 95人以上（会長及び副会長を含む。） | (7) 監事 2人      |
| (4) 支部長 7人                 | (8) 参与 若干人     |

### (役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。

- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

### 第 3 章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを召集する。

- (1) 評議員会 (2) 企画運営委員会 (3) 理事長会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項 (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項 (2) 会務の運営及び執行に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項 (2) その他各専門部の運営に係わる事項

### 第 4 章 会 計

(経 費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の分担金、県内の高等学校等の生徒の会費、補助金、

寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

## 第 5 章 事 務 局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運 営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

## 第 6 章 雜 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

### 附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

## 山口県高等学校文化連盟諸規程

### [会計規程]

昭和62年4月1日制定  
平成4年4月1日改正  
平成5年4月1日改正  
平成8年4月1日改正  
平成20年4月1日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、会費を納入するものとする。

〈会費内訳〉各高等学校生徒一人当たり1年に(全日制生徒) ..... 350円

(定時制、特別支援学校高等部生徒) ..... 50円

各学校負担金(定時制、特別支援学校は除く) ..... 学級数×100円

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

### 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

## [事務局規程]

昭和62年4月1日制定  
昭和62年7月14日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 総務係  
イ 庶務係  
ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局員総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書・調査研究に関する事項を分掌する。

第5条 事務局員庶務係は、事務局長の命を受け、庶務に関する事項を分掌する。

第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

## 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

## [表彰規程]

昭和62年4月1日制定  
昭和62年7月14日改正  
平成元年4月1日改正  
平成2年4月1日改正  
平成6年4月1日改正  
平成8年4月1日改正  
平成15年4月1日改正  
平成18年4月1日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

- (1) 文化功労賞
- (2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの。

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数200名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

- (1) 人格、識見共に優秀と認める者。
- (2) 芸術文科活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、14部門において、全国大会等で優秀賞を授与され、且つ、長年にわたり部の指導に当たってきた者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

## 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

### [旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定  
昭和63年4月1日改正  
平成元年4月1日改正  
平成11年4月1日改正  
平成13年4月1日改正  
平成16年4月1日改正

第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。

第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は、引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。生徒は〔交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

第4条 専門部会長及び支部長が、県高等学校総合文化祭運営協議会（顧問会議、支部会議等）を開催する場合は、出席者の在籍する各学校でこれを負担するものとする。

### [調整基金細則]

第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。

第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。

第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。

第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の議決によりこれを処分することができる。

## 附 則

1. この細則は、平成20年4月1日から施行する。

2. この細則は施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

# 平成19年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名		氏 名		支部・専門部				所 属 校			
会 副 会	長 長	八 上 貞 吉	幡 田 俊 野	フミ 一人 裕 紀	工 人 裕 生						
" "	" "										
参 与		中 島 俊 泰						防 府 高	高 校		
支 部 長		上 平 橋 八 藤 永 吉	田 川 田 藩 原 富 村	一 芳 フ ミ 泰 康 高	孝 章 工 紀 文 男	岩 柳 德 山 宇 下 長	国 井 山 防 関 北	支 支 支 支 支 支 支 支 支 支	部 部 部 部 部 部 部 部 部 部		
" "	" "										
" "	" "										
" "	" "										
" "	" "										
" "	" "										
専 門 部 会 長		佐 江 藤 佐 吉	藤 原 嶋 伊 吉 弘 植 吉	知 健 敏 博 (休) 二 佐 吉	健 二 男 文 紀 (休) 伊 吉 弘 植 吉	紀 生 (休) 藤 佐 吉	劇 樂 部	演 器 合 吹 部	山 口 県 鴻 城 高		
" "	" "						管 管 唱 部	樂 絃 樂 部	縣 開 部 高		
" "	" "						弦 樂 部	樂 部	南 中 央 高		
" "	" "						樂 部	樂 部	高 高 高		
" "	" "						マーチングバンド・パントワリング部	マーチングバンド・パントワリング部	城 高 高		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
専 門 部 理 事 長		村 飯 三 西 繩 橋	岡 田 好 村 田 口	圭 幸 五 正 道 三 恵 (休) 宮 有 佃 広 吉 岡 國	幸 五 正 道 三 恵 (休) 崎 富 瀬 川 嶋 洋	吾 生 郎 浩 孝 子 次 美 憲 夫 子 樹 治	劇 樂 部	演 器 合 吹 部	山 口 県 鴻 城 高		
" "	" "						管 管 唱 部	樂 絃 樂 部	縣 開 部 高		
" "	" "						弦 樂 部	樂 部	南 中 央 高		
" "	" "						樂 部	樂 部	高 高 高		
" "	" "						マーチングバンド・パントワリング部	マーチングバンド・パントワリング部	城 高 高		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
" "	" "						門 部	門 部	校 校 校 校		
監 事		山 豊	本 岡	信 芳	夫 和						
" "											
事 務 局 長		角 柴 新 実 堀 豊	中 崎 竹 近 田 川	悦 太 正 伸 佳 啓 真 利	太 郎 古 明 子						
総 務											
庶 務											
庶 務											
庶 務											
会 計											

平成20年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名	氏名		支部・専門部						所属校					
会長	八幡	フミエ							山口	中央	高	校	校	校
副会長	上木内	田村田	一峰康晃							岩国	高	校	校	校
" "	" "	" "	" "							下関	西	高	校	校
参考	中島	俊泰							防府	高	校	校	校	校
支部長	上竹橋	田本田	一芳朗章	人	柳井	国山	支支支支	支部	岩国	高	高	校	校	校
" "	" "	" "	" "	八幡	福原	徳山	支支支支	支部	柳井	高	高	校	校	校
" "	" "	" "	" "	藤永	泰富	山宇	支支支支	支部	徳山	中	央	高	校	校
" "	" "	" "	" "	吉高	康文	下長	支支支支	支部	山宇	下	関	中等	教育	学校
専門部会長	伊江	藤原	健二	薰	演劇	部	門	門	下関	商業	高	校	校	校
" "	" "	" "	" "	嶋島	敏俊	男泰	樂・管弦樂	部	下宇	南	高	校	校	校
" "	" "	" "	" "	佐吉	知紀	紀生	合唱	部	中部	中央	高	校	校	校
" "	" "	" "	" "	(休)	藤野	（休）	吹奏樂	部	防府	府	高	城	高	校
" "	" "	" "	" "	伊長	藤谷	（休）	マーチングバンド・バントワリング	部	山縣	鴻	高	高	校	校
" "	" "	" "	" "	唐吉	松川	（休）	日本音楽	部	誠	英	（休）	業	高	校
" "	" "	" "	" "	吉橋	松松	（休）	吟詠劍詩	部	下長	（休）	業	高	校	校
" "	" "	" "	" "	橋伊	松田	（休）	美術	部	光山	（休）	業	高	校	校
" "	" "	" "	" "	藤健	（休）	（休）	書写	部	山德	（休）	業	高	校	校
専門部理事長	金三角	森好	健幸	一生	演劇	部	門	門	下關	商業	高	校	校	校
" "	" "	" "	" "	繩橋	中五郎	五郎	樂・管弦樂	部	下宇	南	高	校	校	校
" "	" "	" "	" "	（休）	中道	悦太郎	合唱	部	中部	中央	高	城	高	校
" "	" "	" "	" "	（休）	（休）	孝子	吹奏樂	部	防府	府	高	高	校	校
" "	" "	" "	" "	（休）	（休）	（休）	マーチングバンド・バントワリング	部	山縣	鴻	高	高	校	校
" "	" "	" "	" "	（休）	宮古	龍智	日本音楽	部	誠	英	（休）	業	高	校
" "	" "	" "	" "	佃富	嶋屋	次子	吟詠劍詩	部	下長	（休）	業	高	校	校
" "	" "	" "	" "	吉弘	山川	美幸	美術	部	光山	（休）	業	高	校	校
" "	" "	" "	" "	國	中嶋	貴敏	書写	部	山德	（休）	業	高	校	校
監事	山豊	本岡	信芳	夫和							防府	商業	高	校
" "	" "	" "	" "	" "							西京	高	校	校
事務局長	西柴	村崎	正正比	浩							山口	中央	高	校
総務務務	新豊	新竹	伸芳	浩							山口	中央	高	校
庶会計	豊	川	眞利子	芳							山口	中央	高	校

## 全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向川栄美作詞

乗松美紀作曲



1. てをのばせばほら きっとだれかがささえてくれる  
2. よびかければほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせーば ほらなかまがいつでもそばにいる きみ  
こころをひらけば ほらなかまがいつでもまっている きみ



はひとりじゃない さある きだそう  
はひとりじゃない さあは ばたこ う



ぼくらのぶんかを つくるため一に  
ぼくらのぶんかを きずくため一に

一、手を伸ばせばほら  
きっと誰かが支えてくれる  
見渡せばほら  
仲間がいつでもそばにいる  
君は一人じゃない  
さあ歩きだそう  
僕等の文化を創るために

二、呼びかけばほら  
きっと誰かが応えてくれる  
心を開けばほら  
仲間はいつでも待っている  
君は一人じゃない  
さあ翔こう  
僕等の文化を築くために

## 全国高文連の歌



